

資料編

アンケート調査の概要

●目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組に役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、「目黒区環境基本計画」の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

●調査項目

- (1) 現在お住まいの身近な環境について (問1～問6)
- (2) 環境にやさしい行動の取組状況について (問7～問12)
- (3) 目黒区で行っている環境保全活動について (問13～問19)

●対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、満18歳以上の目黒区民 2,000人

●調査方法

郵送調査法 (無記名回答式のアンケート調査票を郵送配付・郵送回収)

●調査期間

2019(令和元)年5月31日(金)から同年6月19日(水)まで

●回収結果

発送数	不着数 ¹⁾	回収数	有効回答数 ²⁾	有効回答率 ³⁾
2,000	35	620	620	31.6

1) 宛先不明により返送されたアンケート調査票を示します。

2) 回収したアンケート調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に1問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、1問以上回答している場合を有効回答としました。

3) 有効回答数 ÷ (発送数 - 不着数) × 100

●その他

- (1) 「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率(%)で示します。
- (2) 百分率(%)の表示は、小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問では【複数回答】と表記しており、比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 図表中の選択肢の表記について、語句などを一部簡略化している場合があります。

▶ 標本誤差について

標本調査を行ったため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがあります。本調査のように無作為抽出を用いた場合の標本誤差は、信頼度を95%にした場合、次の計算式によって求められます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \quad (N:\text{母集団数、}n:\text{サンプル数(有効回答数)、}p:\text{回答比率})$$

※母集団数（令和元年5月1日現在の目黒区の18歳以上の人口）は244,678人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおりです。

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
620	±2.4%	±3.2%	±3.7%	±3.9%	±4.0%
600	±2.4%	±3.3%	±3.7%	±4.0%	±4.1%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
300	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

【表の見方】

例えば、「身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。」の設問に「良い」と回答した人は全体（n=620）の約20%でした。

この場合、標本誤差は±3.2%であるため、目黒区の18歳以上の人で、「良い」と考えている人の割合は、標本誤差を補正すると、16.8%から23.2%の間にあることが、95%の信頼度でいえることとなります。

<比較表>

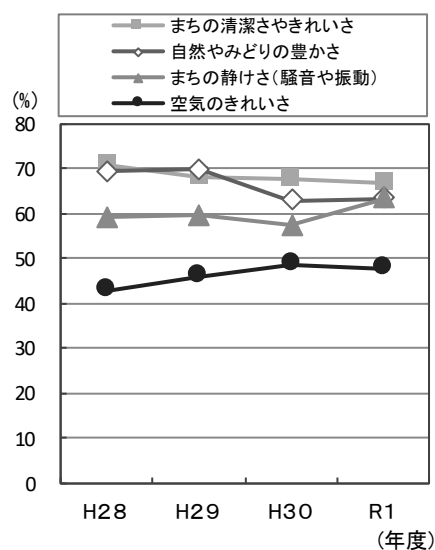
	満18歳以上人口		調査対象者数		有効回答数			
	実数(人)	構成比(%)	対象者(人)	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答率※(%)	
合計	244,678	100.0	2,000	100.0	620	100.0	31.6	
性別	男性	114,389	46.8	1,000	50.0	242	39.0	24.8
	女性	130,289	53.2	1,000	50.0	374	60.3	37.9
	無回答	-	-	-	-	4	0.6	-
年代別	10・20歳代	39,911	16.3	349	17.5	45	7.3	13.1
	30歳代	49,518	20.2	400	20.0	107	17.3	27.4
	40歳代	49,848	20.4	401	20.1	111	17.9	27.9
	50歳代	37,741	15.4	319	16.0	116	18.7	37.3
	60歳代	25,185	10.3	198	9.9	96	15.5	49.2
	70歳以上	42,475	17.4	333	16.7	144	23.2	43.9
	無回答	-	-	-	-	1	0.2	-

※ 有効回答数 ÷ (発送数 - 不着数) × 100

アンケート調査のまとめ

▶ 住まい周辺の身近な環境について（問1、問5）

- 身近な環境に関する4項目（「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「まちの静けさ（騒音や振動）」、「空気のきれいさ」）について、「良い」・「やや良い」の割合の合計を比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「空気のきれいさ」は、2018（平成30）年度とほぼ横ばいとなっています。一方で「まちの静けさ（騒音や振動）」の項目は、2018（平成30）年度より増加しています。
- 「身近な環境を総合的に見てどのように感じているのか」という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は67.7%でした。アンケート調査に回答した区民のおおよそ5人に3人が、身近な環境を「良い」と感じていることがうかがえます。



▶ 環境にやさしい行動の取組状況について（問7、問9、問10）

- 「環境にやさしい行動の取組状況」について聞いたところ、「資源回収」、「ごみの分別」、「ものを大切にする」、「こまめな消灯」、「再生品や詰め替え商品の購入」は「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が90%を超えており、取組として定着していることがうかがえます。
- 2018（平成30）年度と比較すると、「車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する」、「身近に生息している生きものや植物を大切にする」、「洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする」、「使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く」は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が約3～6ポイント減少しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。
- 省エネルギーを意識した電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減への取組状況を聞いたところ、すべての項目で「常に意識して取り組んだ」・「ときどき取り組んだ」の割合の合計が「意識はあったが取り組まなかった」・「意識はなく取り組まなかった」の割合の合計を超えていました。
- 昨年1年間のエネルギー使用状況を聞いたところ、電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）のすべての項目で、使用量が「減っている」が「増えている」の割合を超えていました。

▶ 区で行っている環境保全活動について（問13、問19）

- 「環境保全に関する取組に参加したことがあるか」という質問に対しては、「どれにも参加したことがない」という回答が91.0%でした。参加したことがない人に、参加できない理由を聞いたところ、「活動があることを知らないから」という回答が最も多く、次いで「参加する時間がないから」という結果でした。
- 区の施策に関する満足度について聞いたところ、すべての項目で「満足」・「やや満足」の割合の合計が「不満」・「やや不満」の割合の合計を上回っていました。

アンケート調査の結果

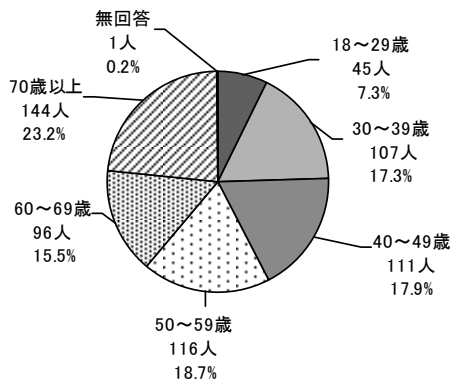
アンケート回答者の属性 (n=620)

< 性別 >

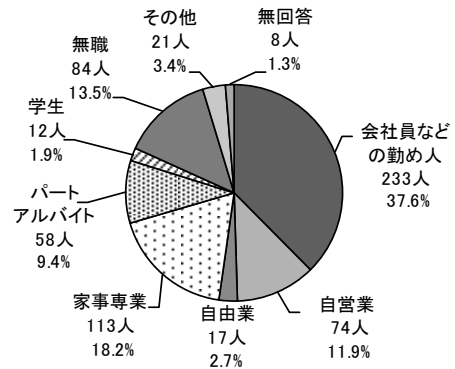
男性	女性	無回答
242人	374人	4人
39.0%	60.3%	0.6%

○無作為抽出では2,000人のうち、
男性1,000人(50.0%)、
女性1,000人(50.0%)でした。

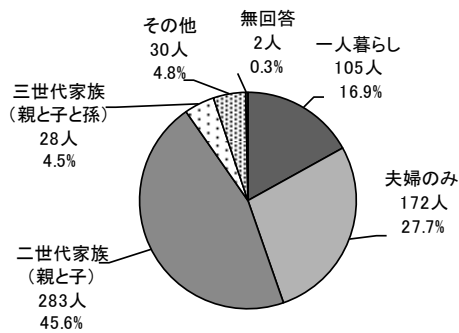
< 年齢(満年齢) >



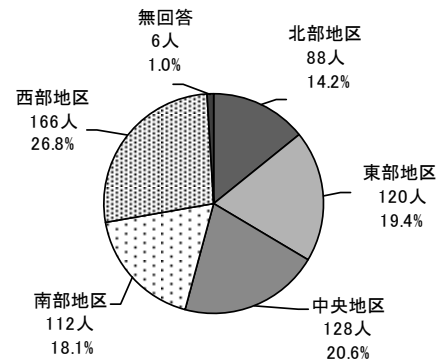
< 職業 >



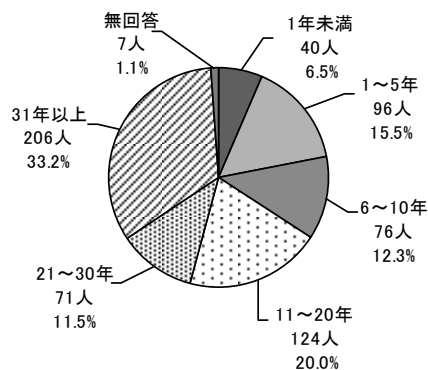
< 世帯の構成 >



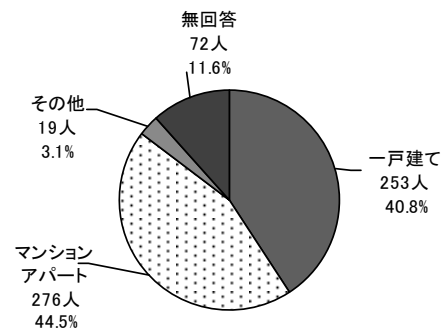
< 居住地区 >



< 目黒区居住年数 >



< 住宅の種類 >

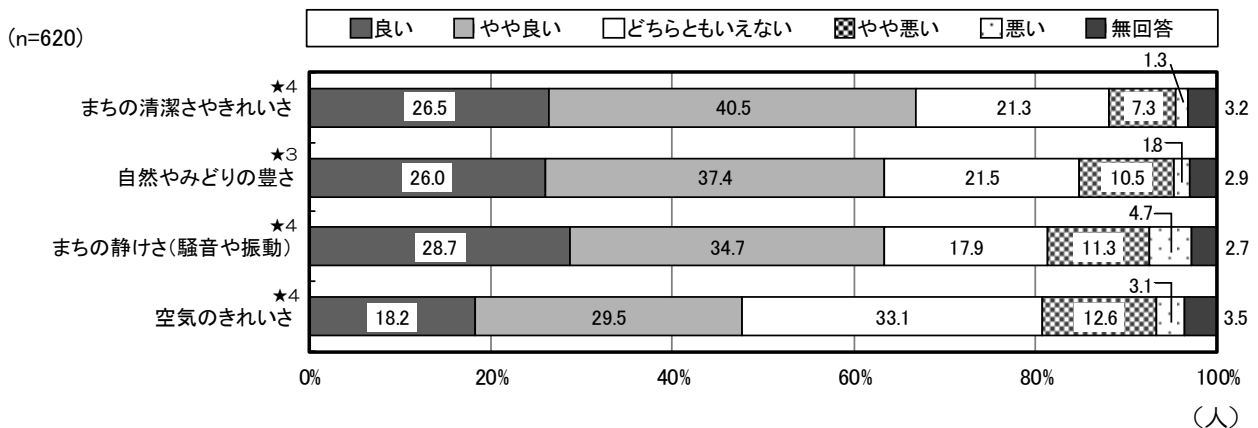


単純集計

1. 現在お住まいの身近な環境について（問1～問6）

問1 身近な環境について、どのように感じていますか。

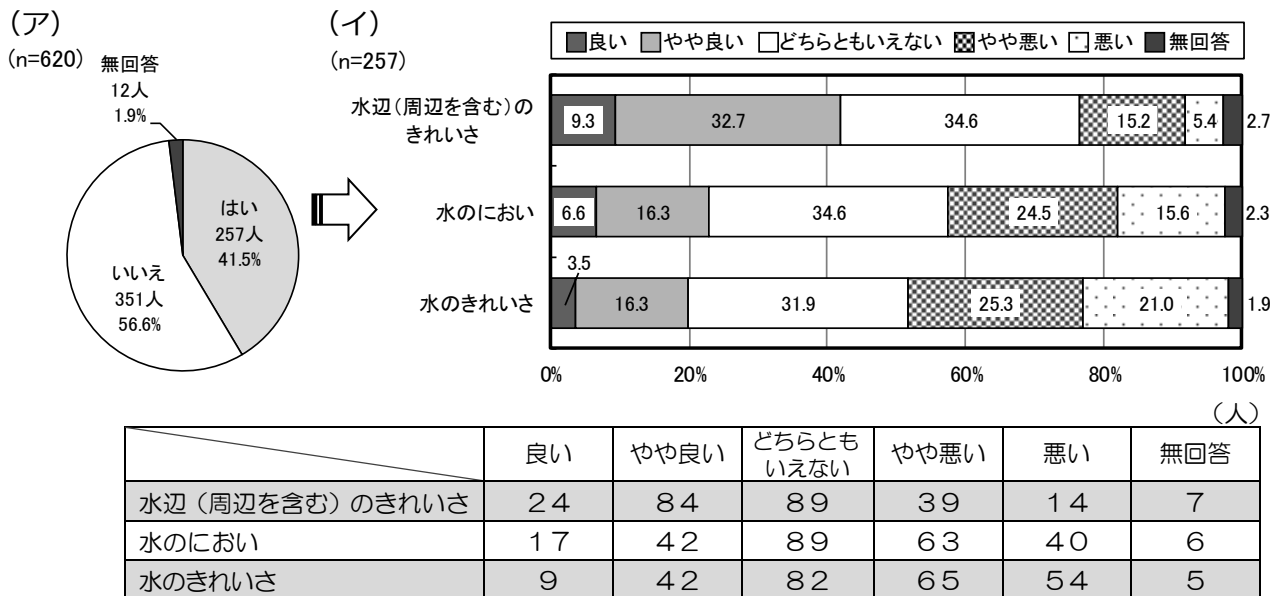
- すべての項目で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計よりも高くなっています。
- 2018（平成30）年度と「良い」・「やや良い」の割合の合計を比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「空気のきれいさ」は、ほぼ横ばいとなっています。一方で「まちの静けさ（騒音や振動）」の項目は、「良い」・「やや良い」と感じている人の割合が増加しています。



	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	無回答
まちの清潔さやきれいさ	164	251	132	45	8	20
自然やみどりの豊かさ	161	232	133	65	11	18
まちの静けさ(騒音や振動)	178	215	111	70	29	17
空気のきれいさ	113	183	205	78	19	22

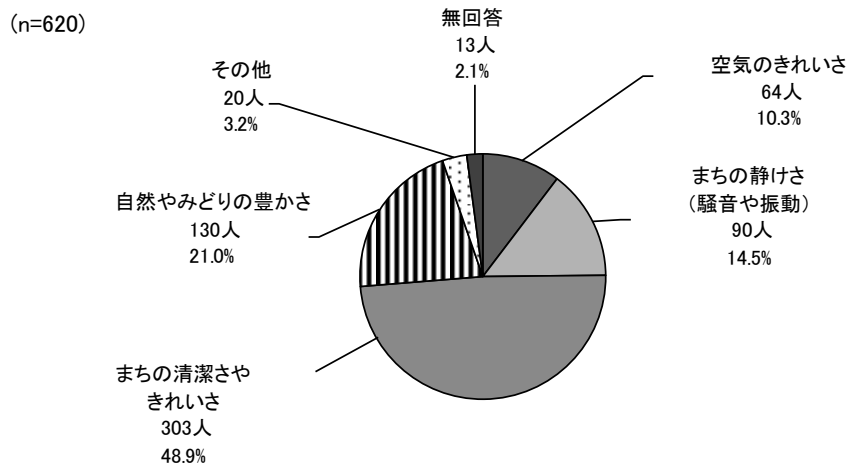
問2 (ア) お住まいの近くに川や池がありますか。
 (イ) お住まいの近くに川や池がある方にお聞きします。

- 住まいの近くに川や池があると回答した人は、41.5%でした。
- 「水辺（周辺を含む）のきれいさ」は、「良い」・「やや良い」の割合の合計（42.0%）が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（20.6%）より高くなっています。
- 「水のおい」、「水のきれいさ」は、「良い」・「やや良い」の割合の合計が「悪い」・「やや悪い」の割合の合計を下回っています。
- 2018（平成30）年度と比較すると、「水辺（周辺を含む）のきれいさ」「水のおい」の「良い」・「やや良い」の割合の合計はほぼ横ばいでしたが、「水のきれいさ」については減少しています。



問3 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。

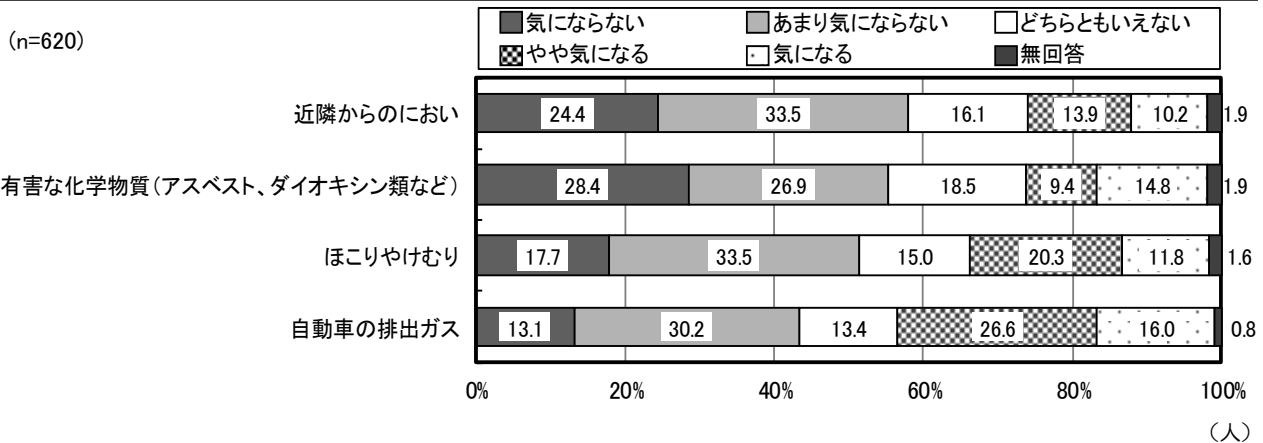
- 最も重要と思う項目としては、「まちの清潔さやきれいさ」が48.9%と最も多くなっています。次いで、「自然やみどりの豊かさ」が21.0%、「まちの静けさ（騒音や振動）」が14.5%となっています。
- 「その他」の回答としては、「治安、安全・安心」（7件）が最も多く、次いで「人のよさ」（6件）などの回答がありました。



問4 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

(1) 空気のきれいさについて

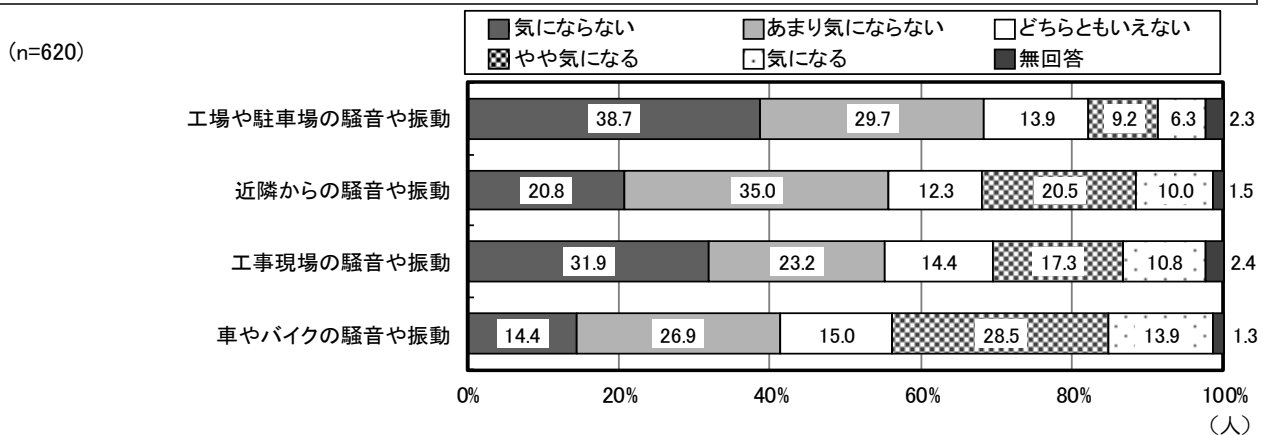
- 空気のきれいさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「近隣からのにおい」で57.9%となっています。
- 全ての項目で、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が、「やや気になる」・「気になる」の割合の合計を上回っています。



	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
近隣からのにおい	151	208	100	86	63	12
有害な化学物質(アスベスト、ダイオキシン類など)	176	167	115	58	92	12
ほこりやけむり	110	208	93	126	73	10
自動車排気ガス	81	187	83	165	99	5

(2) まちの静けさ(騒音や振動)について

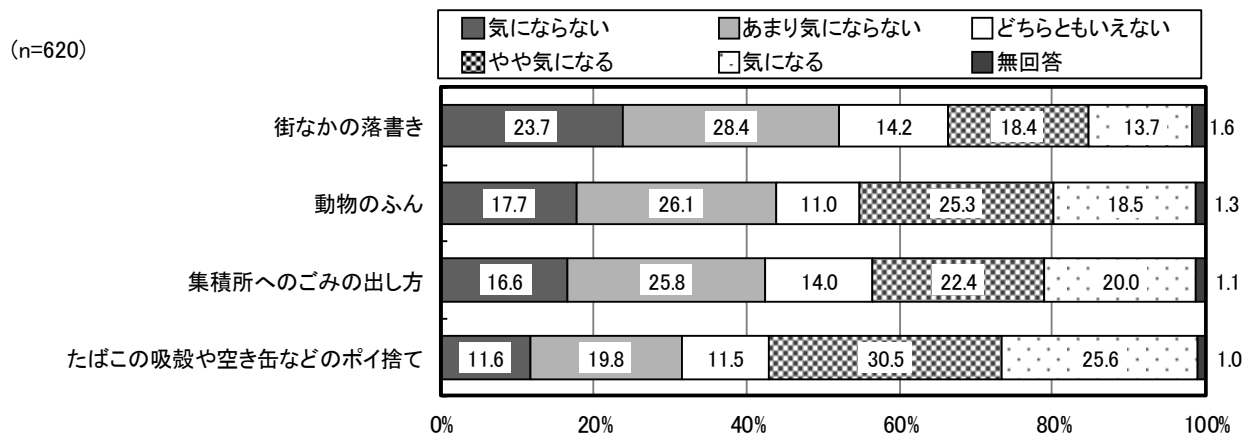
- まちの静けさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「工場や駐車場の騒音や振動」で68.4%となっています。
- 「車やバイクの騒音や振動」については、「気になる」・「やや気になる」の割合の合計(42.4%)が、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計(41.3%)を上回っています。



	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
工場や駐車場の騒音や振動	240	184	86	57	39	14
近隣からの騒音や振動	129	217	76	127	62	9
工事現場の騒音や振動	198	144	89	107	67	15
車やバイクの騒音や振動	89	167	93	177	86	8

(3) まちの清潔さやきれいさについて

- まちの清潔さやきれいさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「街なかの落書き」で52.1%となっています。
- 「たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て」は、「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（56.1%）が、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（31.4%）を上回っています。

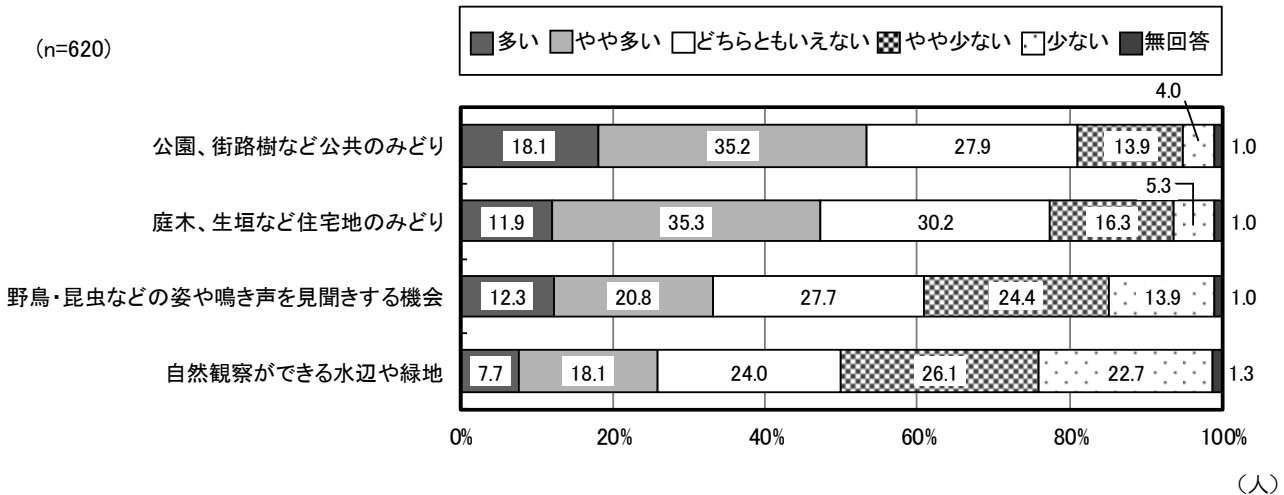


(人)

	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
街なかの落書き	147	176	88	114	85	10
動物のふん	110	162	68	157	115	8
集積所へのごみの出し方	103	160	87	139	124	7
たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て	72	123	71	189	159	6

(4) 自然やみどりの豊かさについて

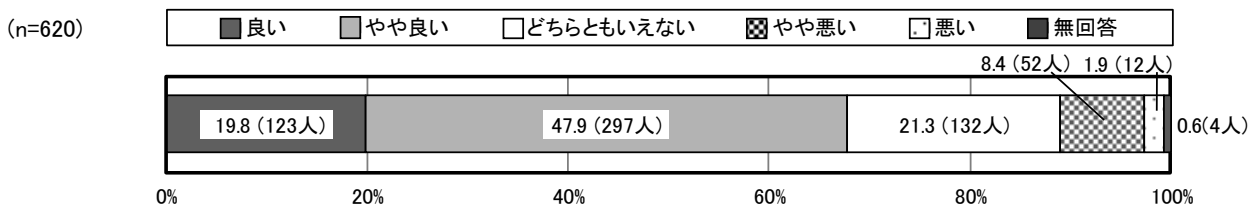
- 自然やみどりの豊かさについて、「多い」・「やや多い」の割合の合計が最も高い項目は、「公園、街路樹など公共のみどり」で53.3%となっています。
- 「野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会」、「自然観察ができる水辺や緑地」は「やや少ない」・「少ない」の割合の合計が、「多い」・「やや多い」の割合の合計より高く、みどりは豊かでも自然とのふれあいは乏しいと感じていることがうかがえます。



	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない	無回答
公園、街路樹など公共のみどり	112	218	173	86	25	6
庭木、生垣など住宅地のみどり	74	219	187	101	33	6
野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会	76	129	172	151	86	6
自然観察ができる水辺や緑地	48	112	149	162	141	8

問5 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。

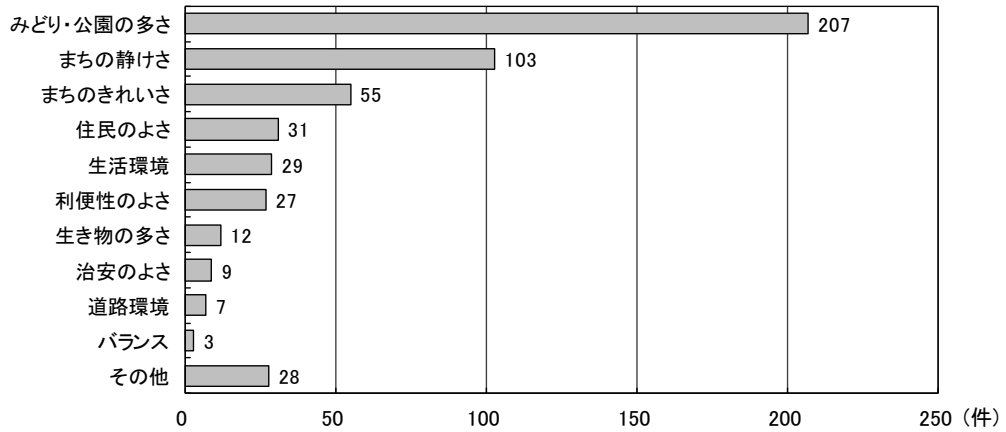
- 「良い」・「やや良い」の割合の合計（67.7%）が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（10.3%）を大きく上回っています。このことから、身近な環境について良いと感じている人が多いことがうかがえます。



問6 問5で回答した理由をご記入ください（自由回答）。

<「良い」と思う理由 回答者数：362人、延べ回答件数：511件>

○ 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、みどり・公園の多さ、まちの静けさなどが挙げられます。

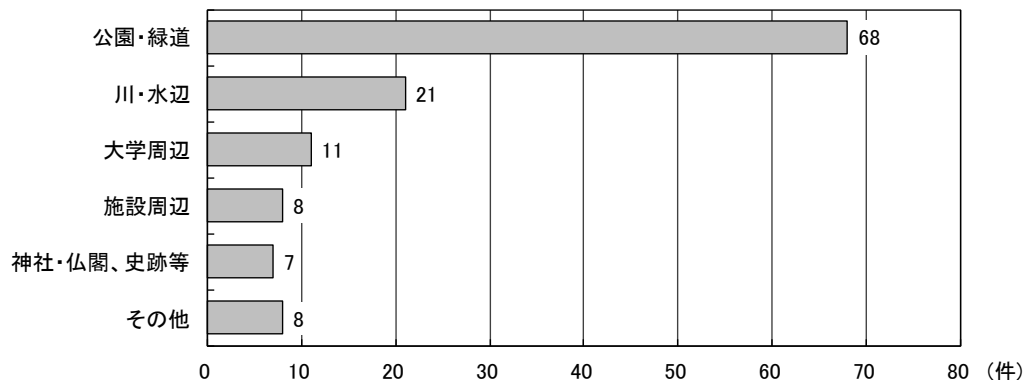


【具体的な内容（抜粋）】

みどり・公園の多さ	<ul style="list-style-type: none"> 公園や緑道が多く、季節を感じられる 公園が多く子どもたちが安心して遊べる 街路樹や庭先のお花の手入れがよくされている など
まちの静けさ	<ul style="list-style-type: none"> 都心のわりに静か 閑静な住宅地で過ごしやすい など
まちのきれいさ	<ul style="list-style-type: none"> 道路や公園がいつもきれいに管理されている ごみの出し方も良い など

<「良い」と思う場所 回答者数：99人、延べ回答件数：123件>

○ 「良い」と思う場所では、123件中68件が公園・緑道に関する場所であり、自然が感じられる場所が多く回答されました。

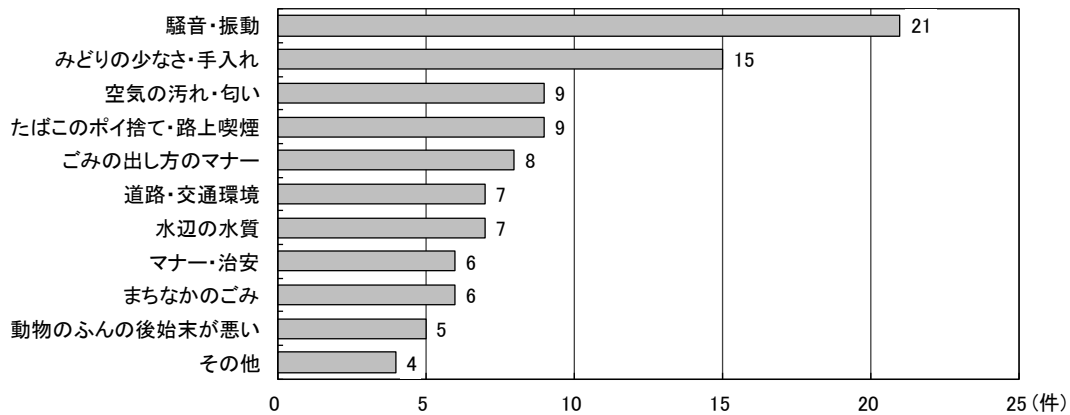


【具体的な内容（抜粋）】

公園・緑道	都立林試の森公園、駒沢オリンピック公園総合運動場、碑文谷公園、駒場野公園、呑川緑道、九品仏川緑道 など
川	目黒川
神社仏閣、史跡など	泰叡山瀧泉寺（目黒不動尊）、碑文谷八幡宮 など

<「悪い」と思う理由 回答者数：60人、延べ回答件数：97件>

○ 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、騒音・振動、みどりの少なさ・手入れなどが挙げられます。

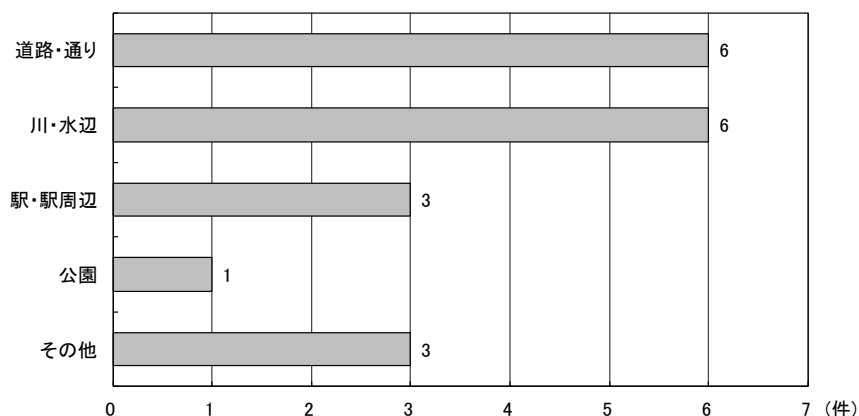


【具体的な内容（抜粋）】

騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の車やバイクの騒音・振動 ・道路や建築物工事の騒音・振動 など
みどりの少なさ・手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地における雑草などの手入れ ・公園や街路樹などのみどりが十分でない など
空気の汚れ・におい	<ul style="list-style-type: none"> ・排気ガスが多く空気が悪い ・近隣住居からのたばこのにおい など

<「悪い」と思う場所 回答者数：16人、延べ回答件数：19件>

○ 「悪い」と思う場所では、16件中12件が道路・通り及び川・水辺に関する場所であり、幹線道路沿いの場所が多く回答されました。



【具体的な内容（抜粋）】

道路・通り	目黒通り、山手通り、環状7号線の騒音 など
川・水辺	目黒川のにおい、濁り など

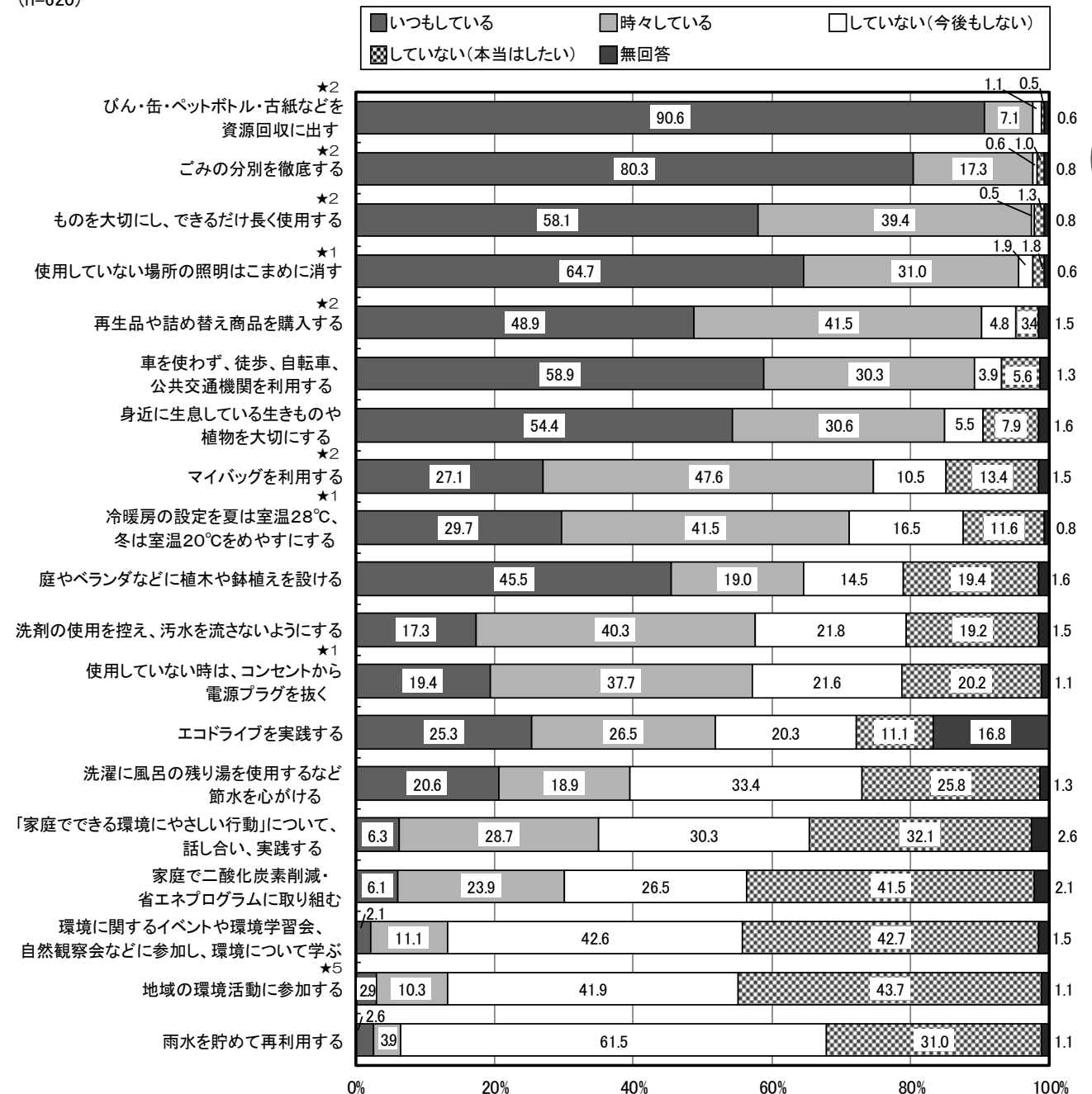
2. 環境にやさしい行動の取組状況について（問7～問12）

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

<家庭でできる環境にやさしい行動I>

- 「資源回収」、「ごみの分別」、「ものを大切に使う」、「こまめな消灯」、「再生品や詰め替え商品の購入」は「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が90%を超えており、取組として定着していることがうかがえます。
- 2018（平成30）年度と比較すると、「車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する」、「身近に生息している生きものや植物を大切に使う」、「洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする」、「使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く」は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が約3～6ポイント減少しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。

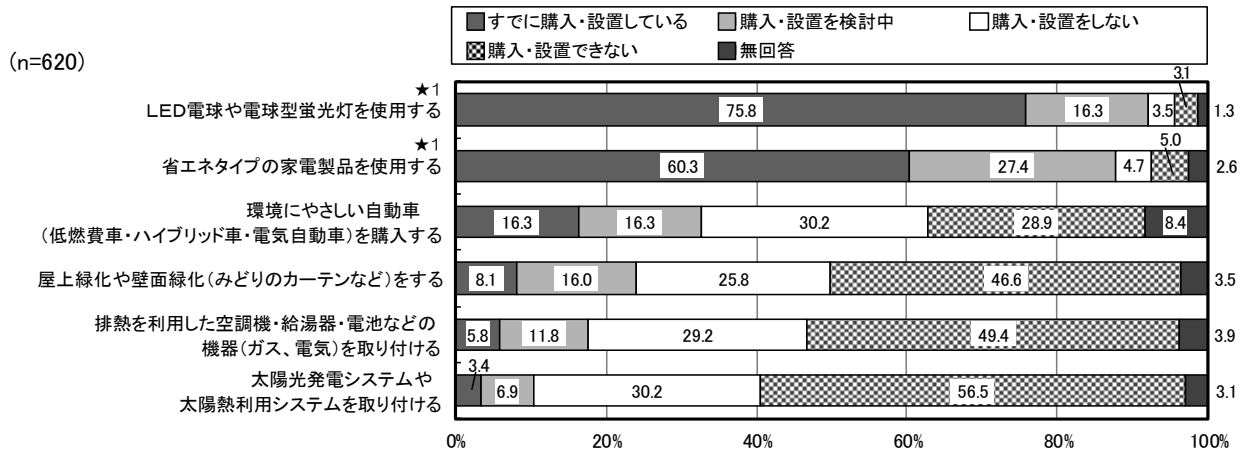
(n=620)



資料編

＜家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ＞

- 「すでに購入・設置している」の割合が高い項目は、「LED電球や電球型蛍光灯を使用する」(75.8%)、「省エネタイプの家電製品を使用する」(60.3%)でした。また、両項目とも「購入・設置を検討中」を含めると、85%を超えています。
- 「すでに購入・設置している」の割合が低い項目は、「太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける」(3.4%)、「排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器を取り付ける」(5.8%)でした。両項目とも「購入・設置できない」の割合が高く、この理由としては、価格が高いこと、賃貸住宅など居住形態による物理的な制約があることなどが考えられます。

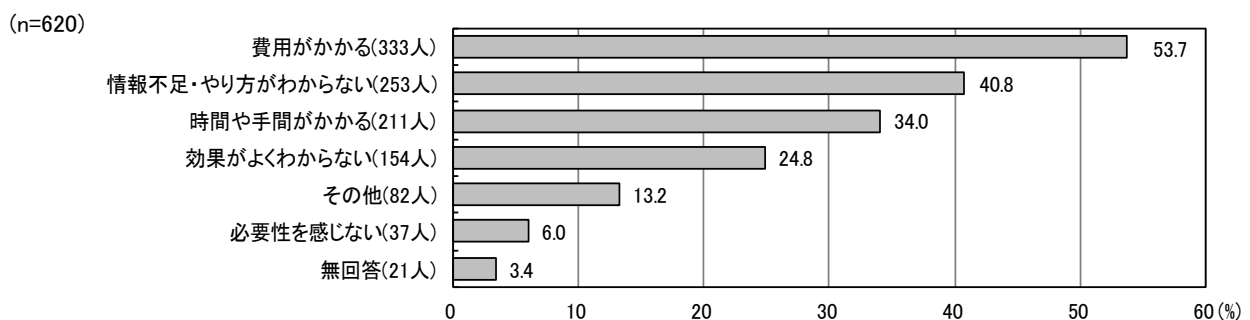


(人)

	すでに購入・設置している	購入・設置を検討中	購入・設置をしない	購入・設置できない	無回答
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	470	101	22	19	8
省エネタイプの家電製品を使用する	374	170	29	31	16
環境にやさしい自動車を購入する	101	101	187	179	52
屋上緑化や壁面緑化をする	50	99	160	289	22
排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器を取り付ける	36	73	181	306	24
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	21	43	187	350	19

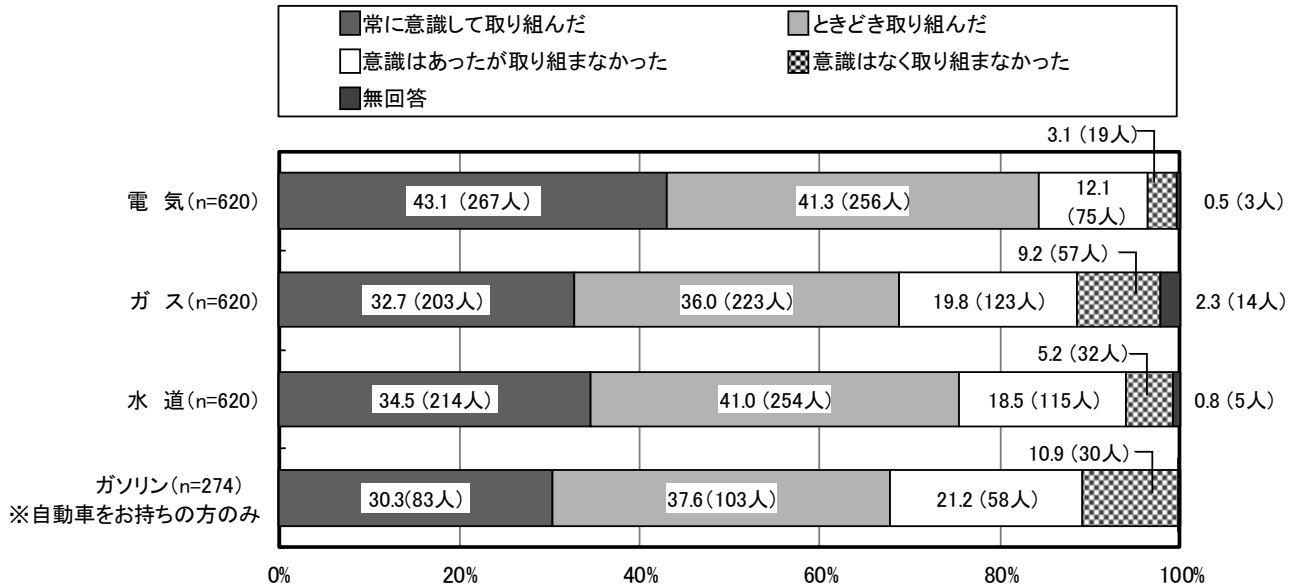
問8 あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

- 取り組むことが難しい理由としては、「費用がかかる」(53.7%)が最も高い割合を占めています。次いで、「情報不足・やり方がわからない」(40.8%)、「時間や手間がかかる」(34.0%)となっています。
- 「その他」は、「集合住宅・賃貸のため」(40件)が最も多く、「できることはやっている」(8件)、「家の構造、スペース」(8件)などの回答がありました。



問9 あなたは、昨年1年間に省エネルギーを意識して電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減に取り組みましたか。

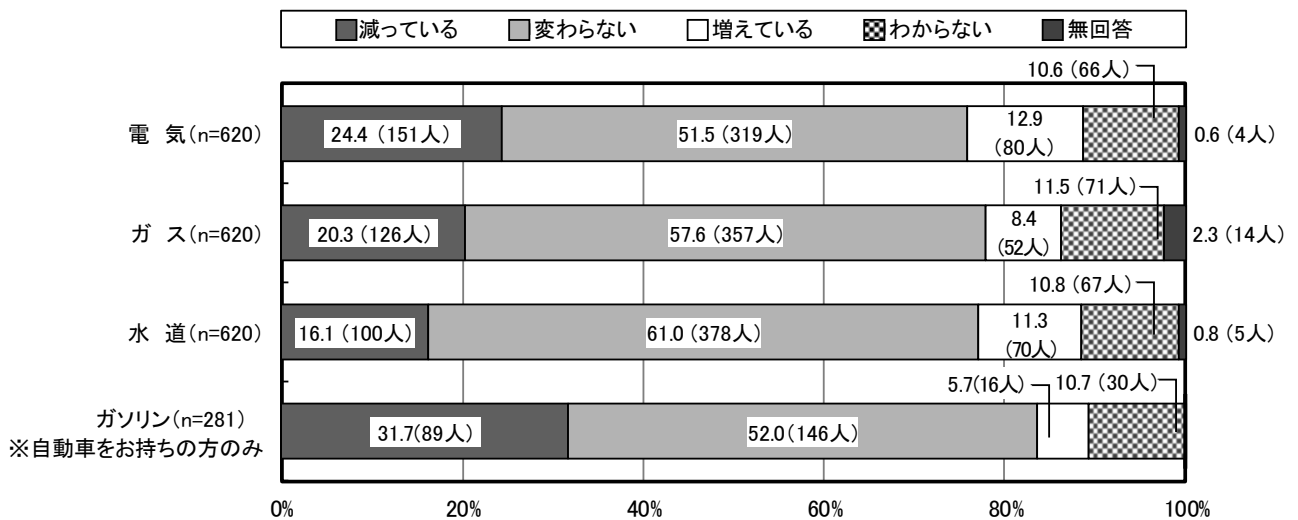
○ 電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）のすべての項目において、「常に意識して取り組んだ」・「ときどき取り組んだ」の割合の合計が「意識はあったが取り組まなかった」・「意識はなく取り組まなかった」の割合の合計を超えています。



問10 あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。

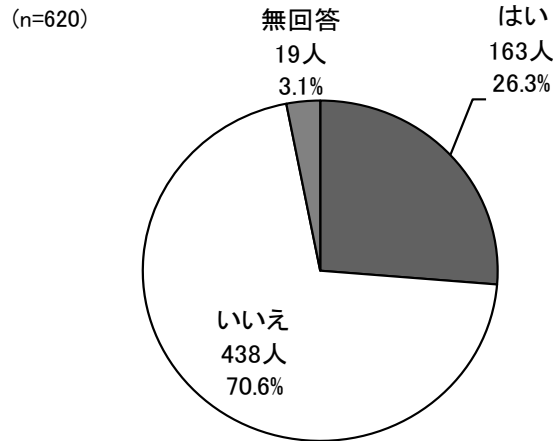
○ 電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）のすべての項目において、使用量が「減っている」という回答が「増えている」の割合を超えています。

○ 電気、ガス、水道において、「変わらない」と回答している人が多いのは、既に節約が定着している人も含まれていることが考えられます。



問 11 (ア) あなたの世帯では、昨年 1 年間で省エネルギーを意識して家電や自動車の買い替え、再生可能エネルギー機器の導入をしましたか。

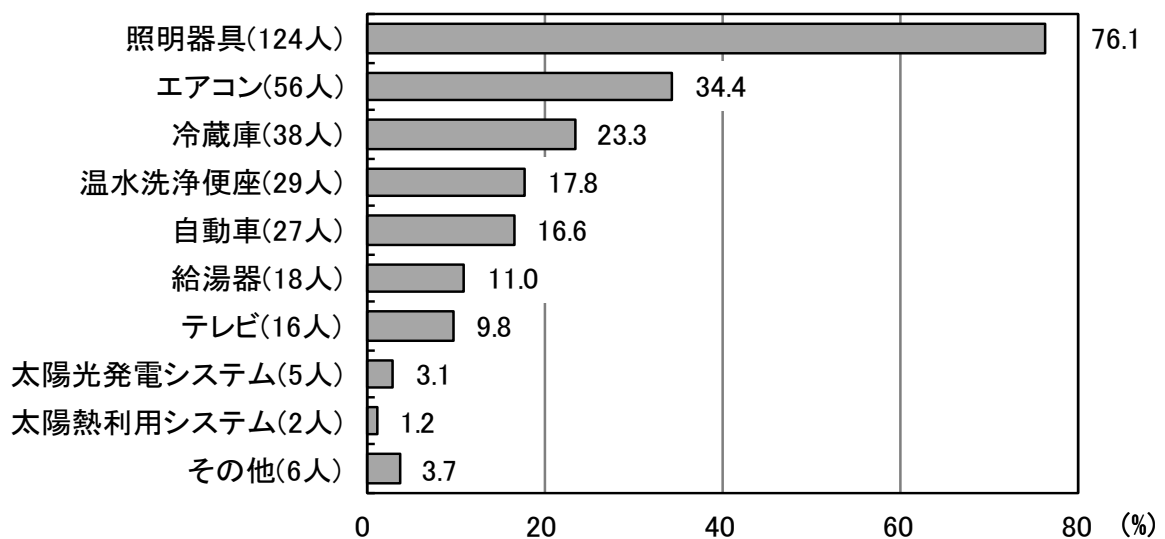
○ 環境に配慮して家電や自動車の買い替え、再生可能エネルギー機器を導入したと回答した人は 26.3% でした。



問 11 (イ) 「はい」と答えた方のみにお聞きします。具体的に買い替え、導入したものは何ですか。【複数回答】

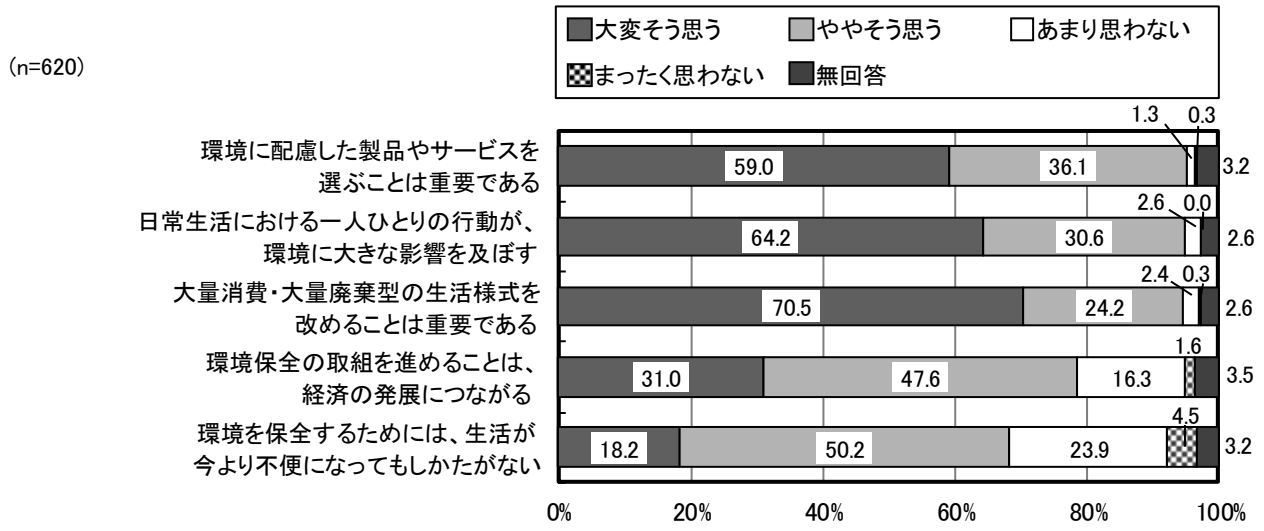
○ 買い替え、導入したのものとしては、照明器具の買い替え (76.1%) が最も高く、次いで、エアコン (34.4%)、冷蔵庫 (23.3%) となっています。
○ その他は、「洗濯機」(3人) が最も多く、「掃除機」や、「扇風機」などの回答がありました。

(n=163)



問12 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

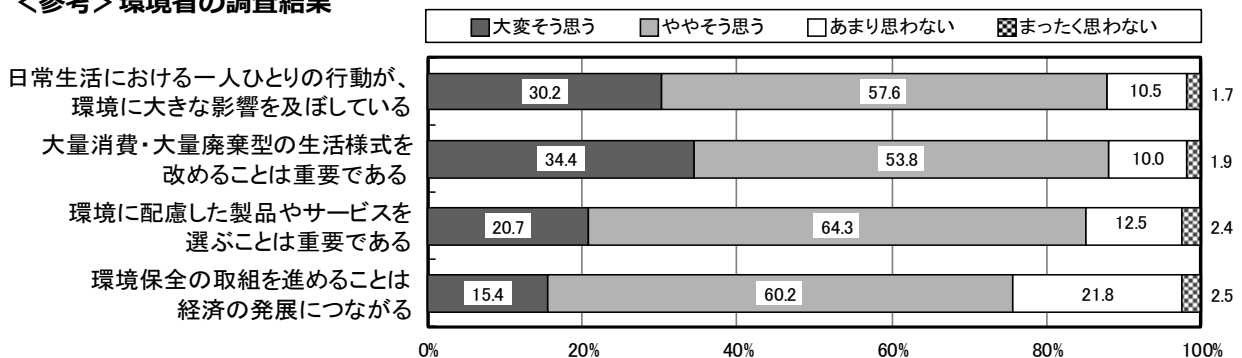
- すべての項目で「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が65%以上となり、環境に対する取組について、肯定的な意見を持つ人が多いことがうかがえます。
- 2018（平成30）年度と比較すると、「環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる」の項目の「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が2.6ポイント減少しましたが、その他の意見に対する回答状況は、ほぼ横ばいとなっています。
- 次の<参考>にある環境省の調査結果と比べると、すべての項目で「大変そう思う」の割合が目黒区の調査結果のほうが高くなっています。



(人)

	大変そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	366	224	8	2	20
日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	398	190	16	0	16
大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	437	150	15	2	16
環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	192	295	101	10	22
環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	113	311	148	28	20

<参考> 環境省の調査結果



WEB

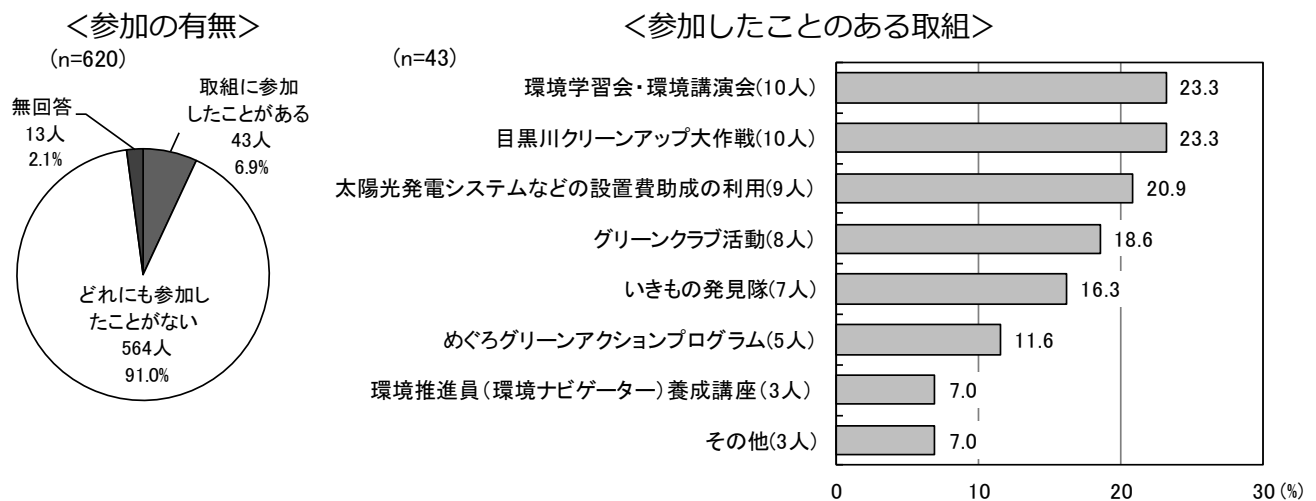
環境省> 総合環境政策> 環境基本計画> 環境にやさしいライフスタイル実態調査等> 平成28年度調査環境にやさしいライフスタイル実態調査（国民調査の結果）> 2. 結果の概要> 2.5 環境問題に対する考え方等への意見・考え

出典：環境省ホームページより（調査結果一部抜粋）

3. 目黒区で行っている環境保全活動について（問13～問19）

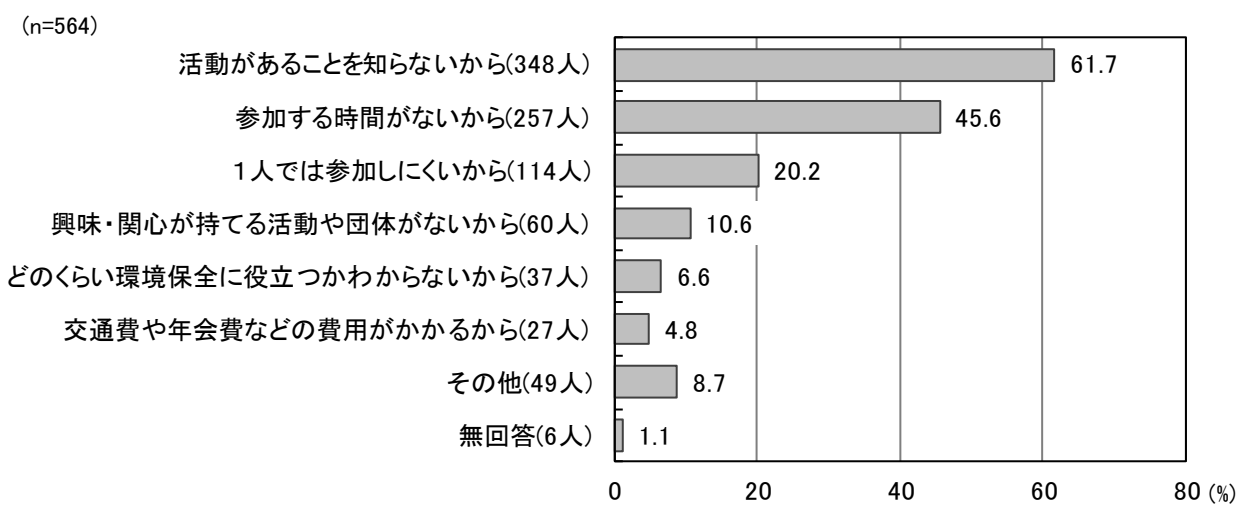
問13（ア）区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。【複数回答】

- 環境保全に関する取組に「どれにも参加したことがない」が91.0%となっています。
- 参加したことがある取組のうち、回答者数が多かった取組は、「環境学習会・環境講演会」及び「目黒川クリーンアップ大作戦」でした。
- 「その他」では、「公園での下草刈りや木の伐採」などの回答がありました。



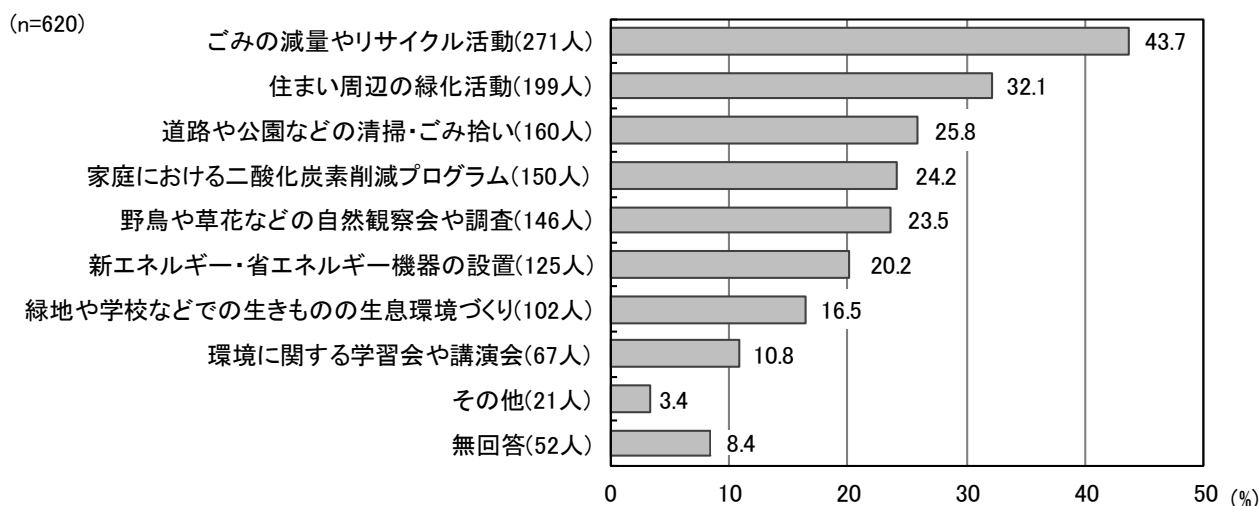
問13（イ）どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。【複数回答】

- 参加できない理由としては、「活動があることを知らないから」（61.7%）が最も多くなっていました。次いで、「参加する時間がないから」（45.6%）、「1人では参加しにくいから」（20.2%）となっています。
- 「その他」の理由としては、「高齢、体調不良」（19人）、「情報不足」（5人）、「転入したばかり」（3人）などの回答がありました。



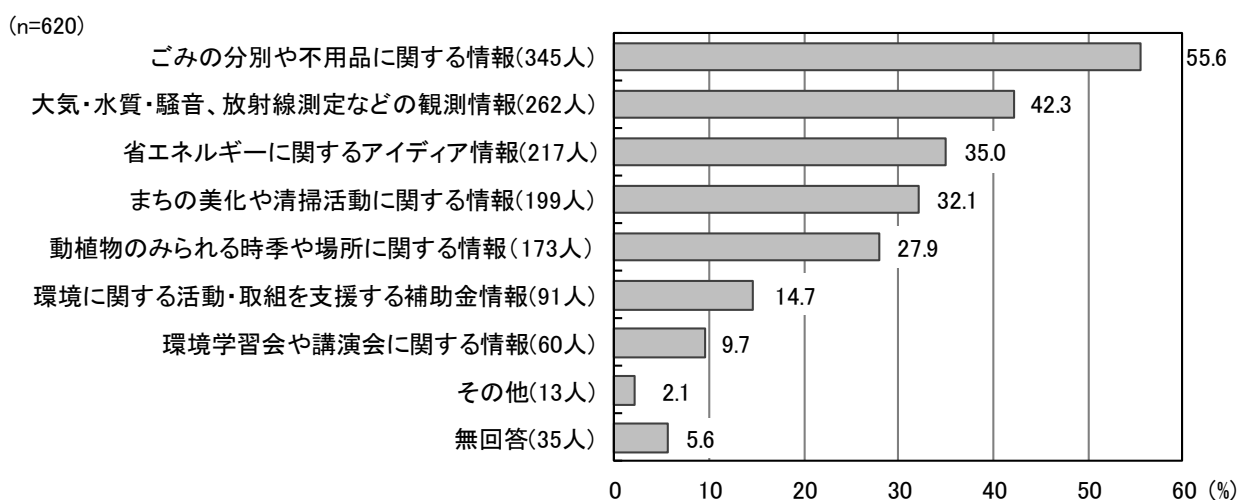
問 1 4 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】

- 興味がある活動としては、「ごみの減量やリサイクル活動」(43.7%)、「住まい周辺の緑化活動」(32.1%)が多く、次いで「道路や公園などの清掃・ごみ拾い」(25.8%)、「家庭における二酸化炭素削減プログラム」(24.2%)となっています。
- 「その他」では、「家庭菜園、市民農園」、「子供と一緒に参加できるもの」などの回答がありました。



問 1 5 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。【複数回答】

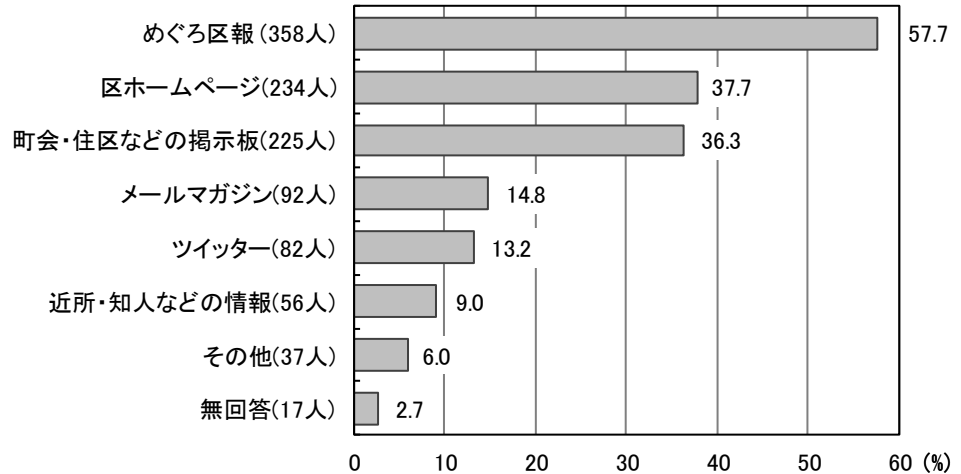
- 「ごみの分別や不用品に関する情報」(55.6%)が最も多く、次いで「大気・水質・騒音、放射線測定などの観測情報」(42.3%)、「省エネルギーに関するアイデア情報」(35.0%)と続き、その順位や比率は2018(平成30)年度とほぼ変わりません。



問16 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

- 「めぐろ区報」(57.7%) が最も多く、次いで「区ホームページ」(37.7%)、「町会・住区などの掲示板」(36.3%) となっています。
- 「その他」では、「Instagram」(9件)、「郵送・チラシ」(6件) などの回答がありました。

(n=620)



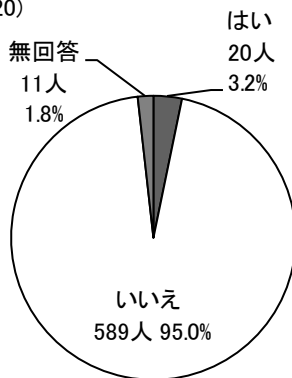
問17 「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きます。

- 2015(平成27)年4月に開設した「めぐろスマートライフ」ホームページを知っている人は3.2%、知らない人は95.0%となっています。
- 今後、充実を望む情報は、「暮らし全般に関するアイデア情報」(68.9%) が一番多く、続いて「省エネに関する情報」(38.2%)、「食に関するアイデア情報」(35.6%) となっています。

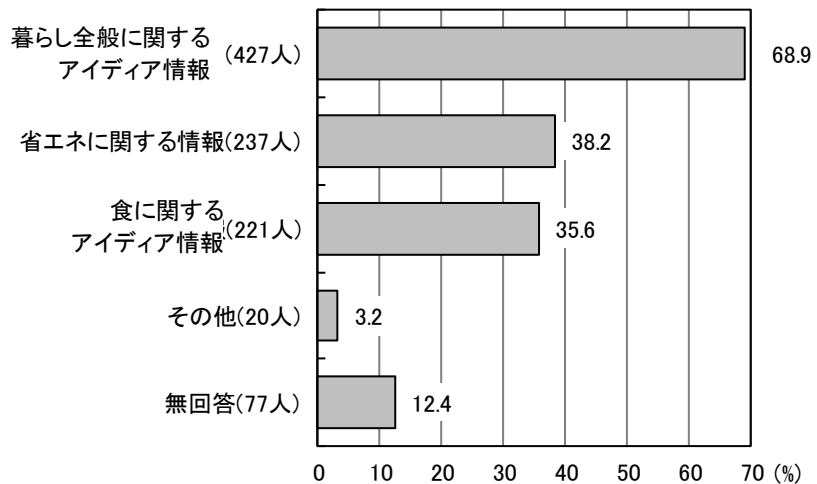
(ア) <ホームページを知っている>

(イ) <今後、充実を望む情報> 【複数回答】

(n=620)

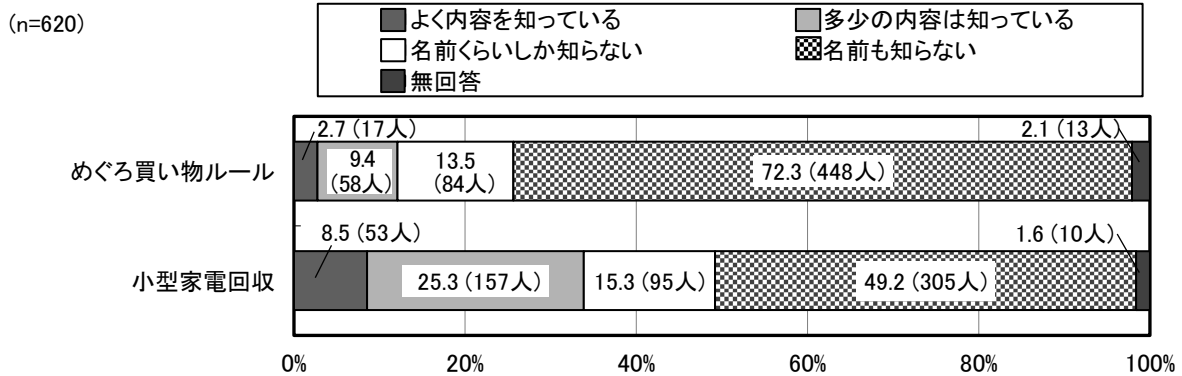


(n=620)



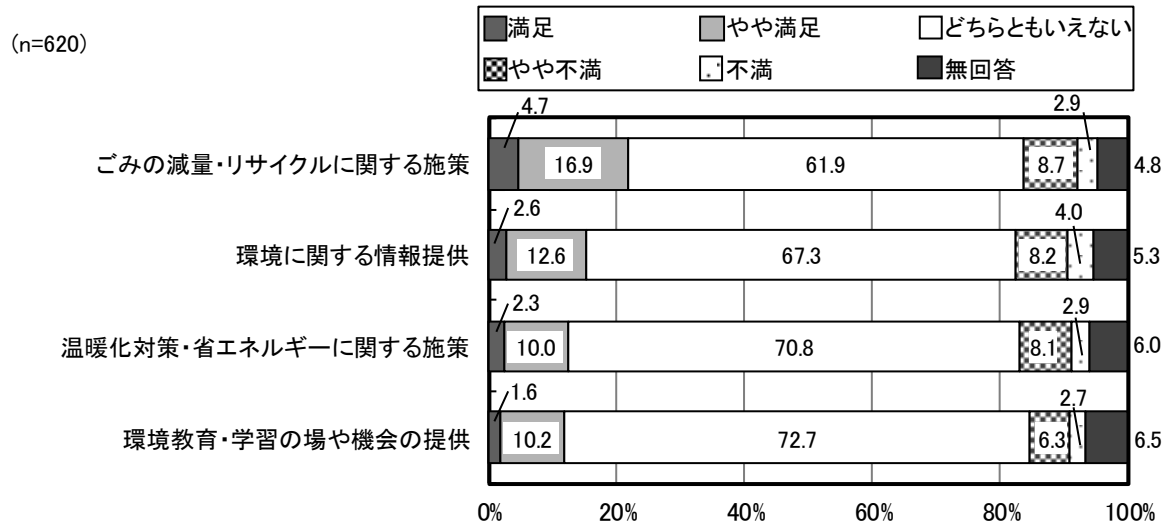
問 1 8 リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。

- いずれの項目も、「名前も知らない」が45%を超えています。
- 特に「めぐろ買い物ルール」の「名前も知らない」は72.3%であり、2018（平成30）年度と比較しても大きな変化は見られませんでした。



問 1 9 目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。

- すべての項目において、「どちらともいえない」が50%を超えています。
- 「ごみの減量・リサイクルに関する施策」の「満足」・「やや満足」の割合の合計は21.6%と、他の項目と比較すると満足度が高い結果となっています。



(人)

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
ごみの減量・リサイクルに関する施策	29	105	384	54	18	30
環境に関する情報提供	16	78	417	51	25	33
温暖化対策・省エネルギーに関する施策	14	62	439	50	18	37
環境教育・学習の場や機会の提供	10	63	451	39	17	40

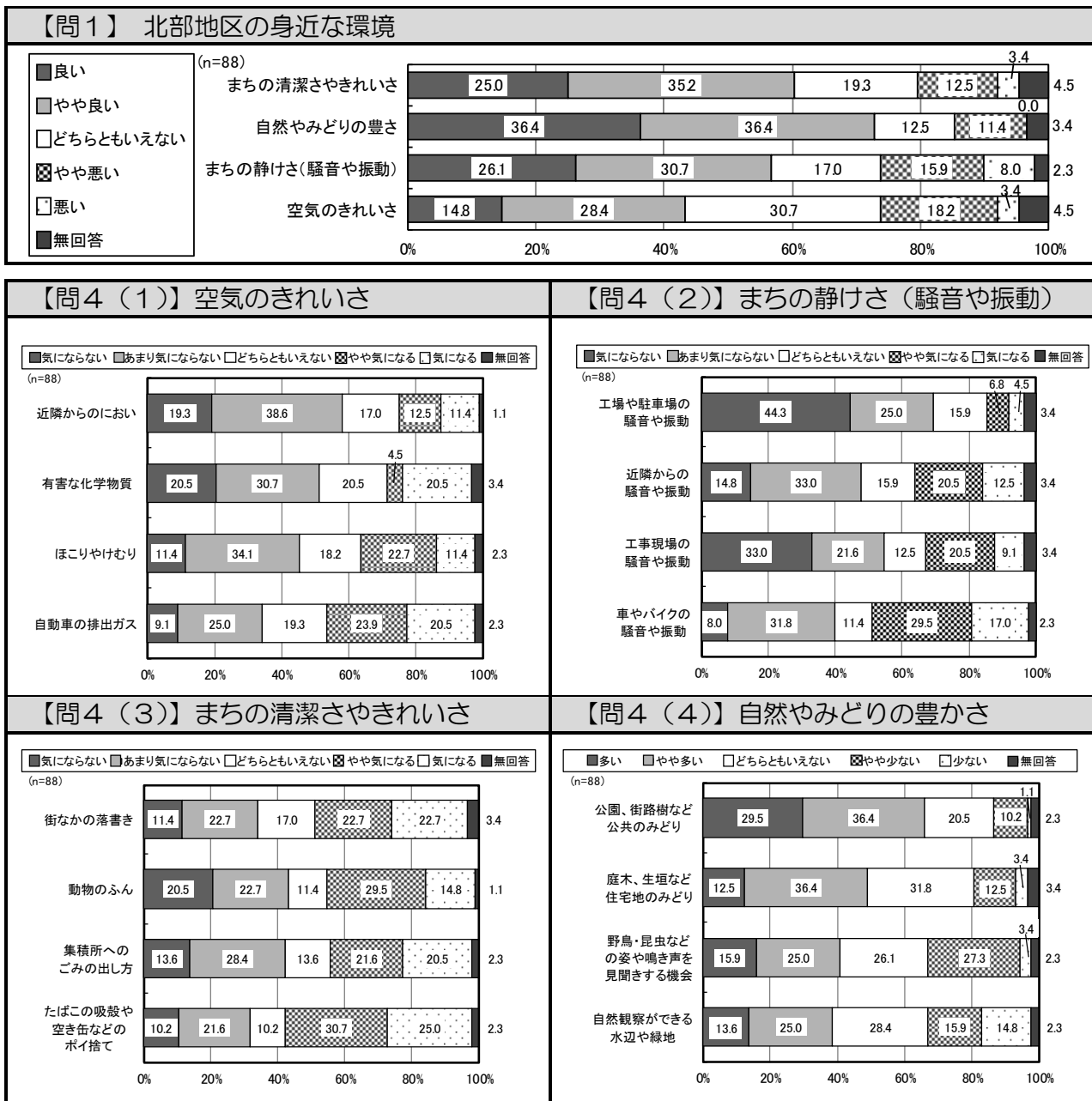
身近な環境の感じ方

- 問1 身近な環境について、どのように感じていますか。
 問4 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

《 北部地区 》

- 問1における身近な環境4項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」(72.8%)でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ(騒音や振動)」(23.9%)でした。
- 問1において評価の高かった「自然やみどりの豊かさ」について、問4(4)を項目別に確認すると、「公園、街路樹など公共のみどり」の「やや多い」・「多い」の割合の合計(65.9%)が高くなっています。
- 問1において評価の低かった「まちの静けさ(騒音や振動)」について、問4(2)を項目別に確認すると、「車やバイクの騒音や振動」の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計(46.5%)が高くなっています。

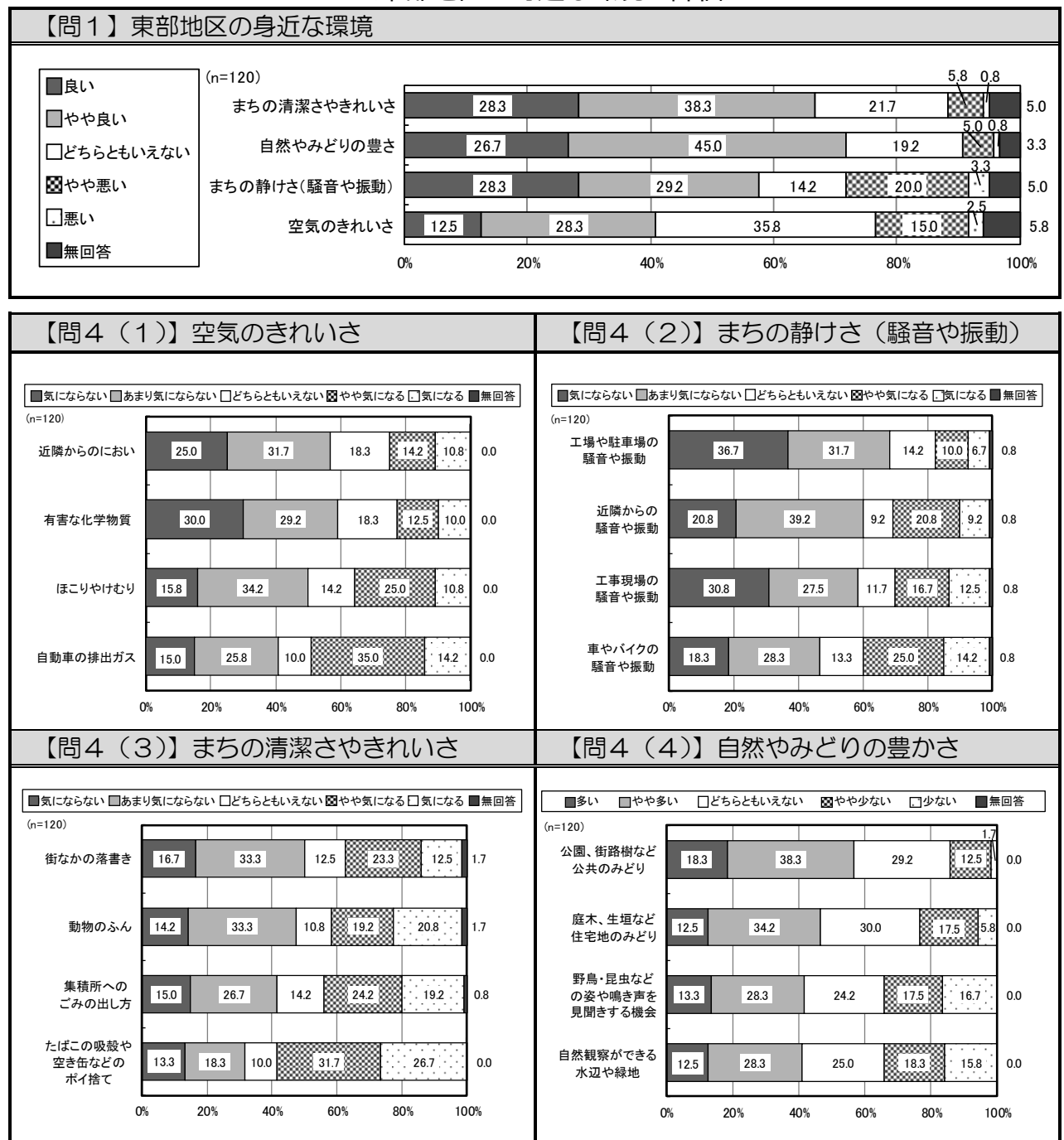
<北部地区の身近な環境の評価>



《 東部地区 》

- 問1における身近な環境4項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」（71.7%）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（23.3%）でした。
- 問1において評価の高かった「自然やみどりの豊かさ」について、問4（4）を項目別に確認すると、「公園、街路樹など公共のみどり」の「多い」・「やや多い」の割合の合計（56.6%）が高くなっています。
- 問1において評価の低かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問4（2）を項目別に確認すると、「車やバイクの騒音や振動」の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（39.2%）が高くなっています。

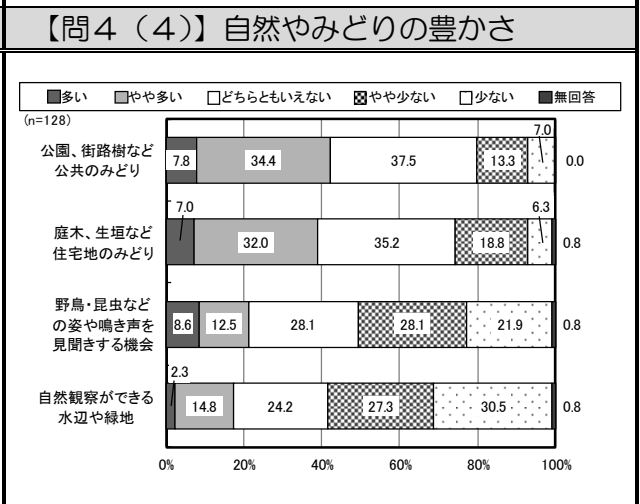
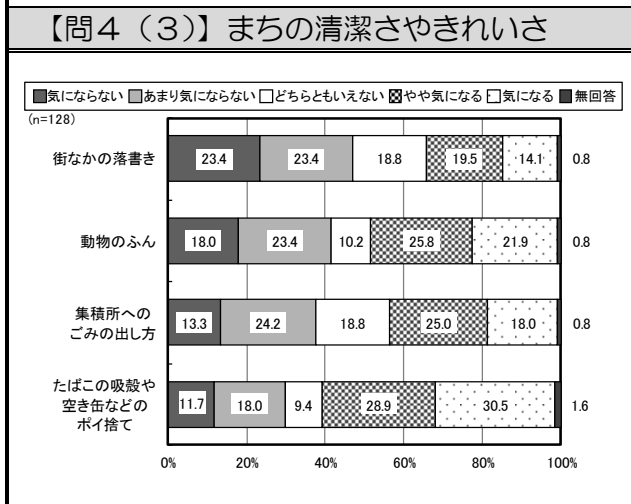
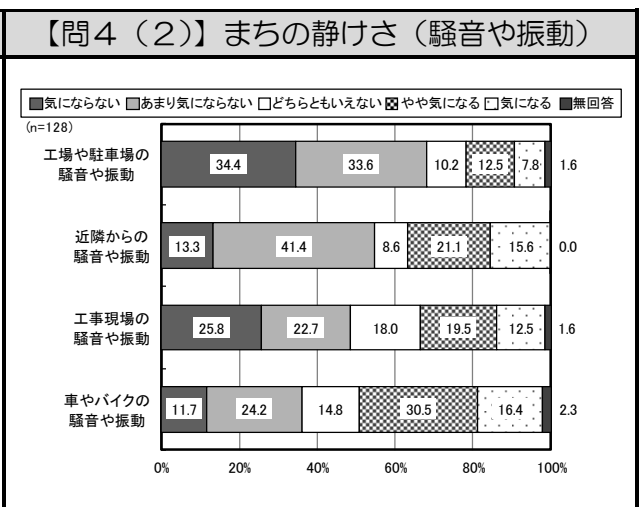
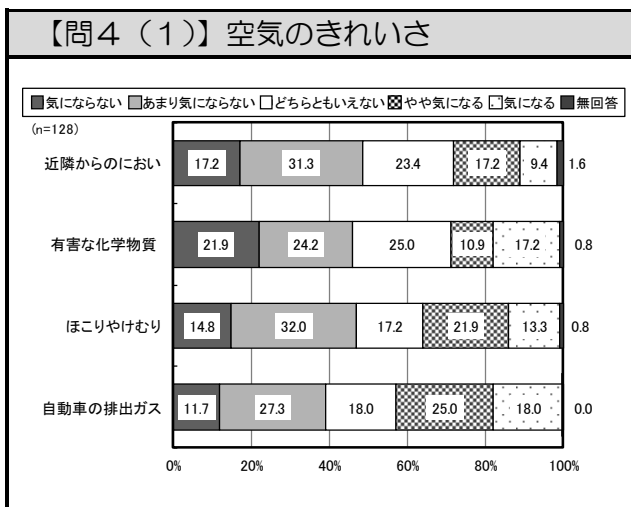
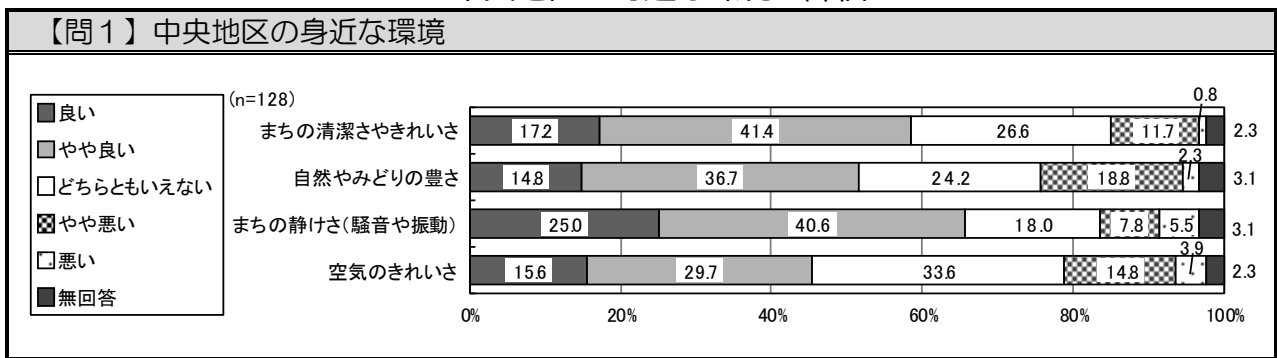
<東部地区の身近な環境の評価>



《 中央地区 》

- 問1における身近な環境4項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（65.6%）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」（21.1%）でした。
- 問1において評価の高かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問4（2）を項目別に確認すると、「工場や駐車場の騒音や振動」の「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（68.0%）が高くなっています。
- 問1において評価の低かった「自然やみどりの豊かさ」について、問4（4）を項目別に確認すると、「自然観察ができる水辺や緑地」の「やや少ない」・「少ない」の割合の合計（57.8%）が高くなっています。

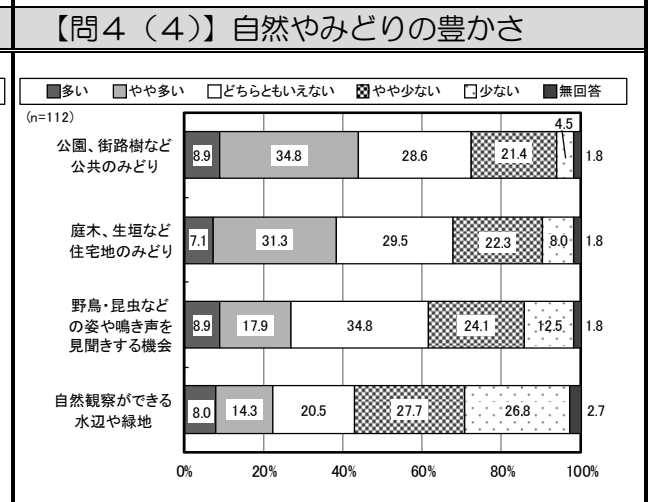
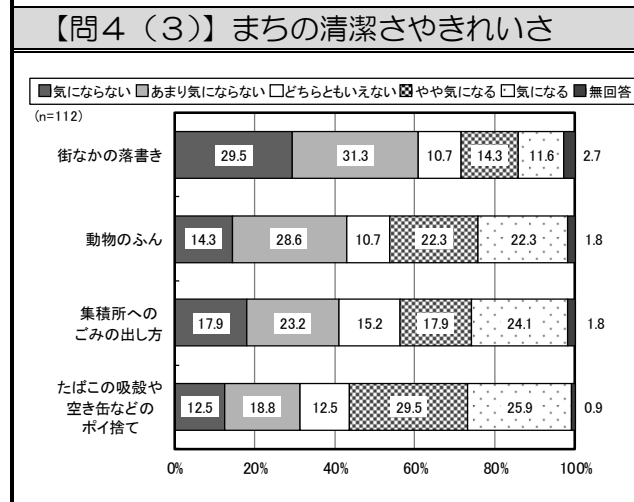
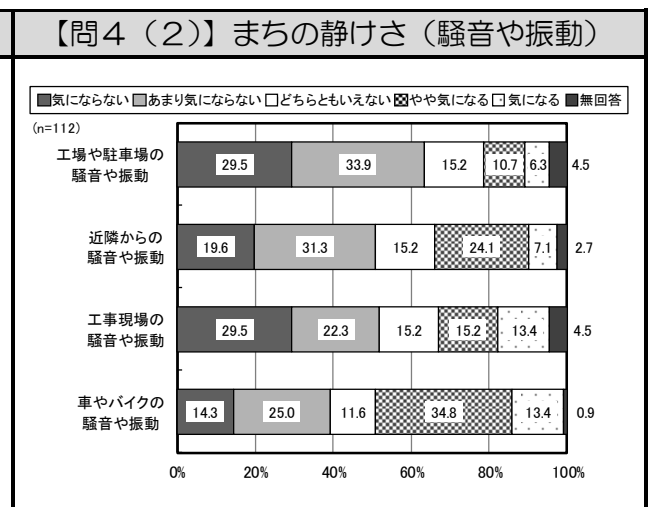
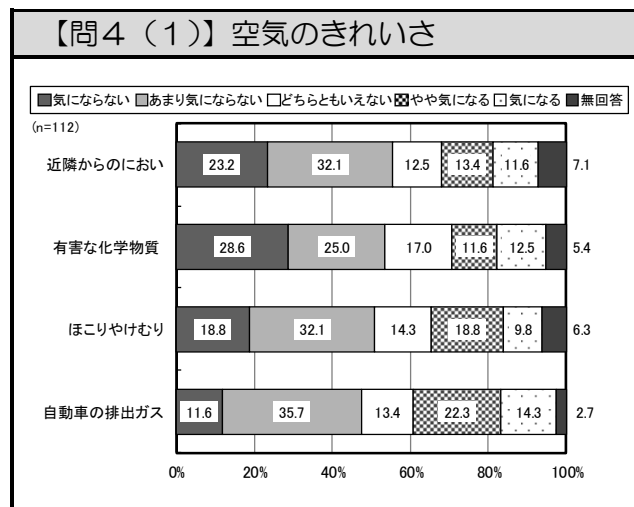
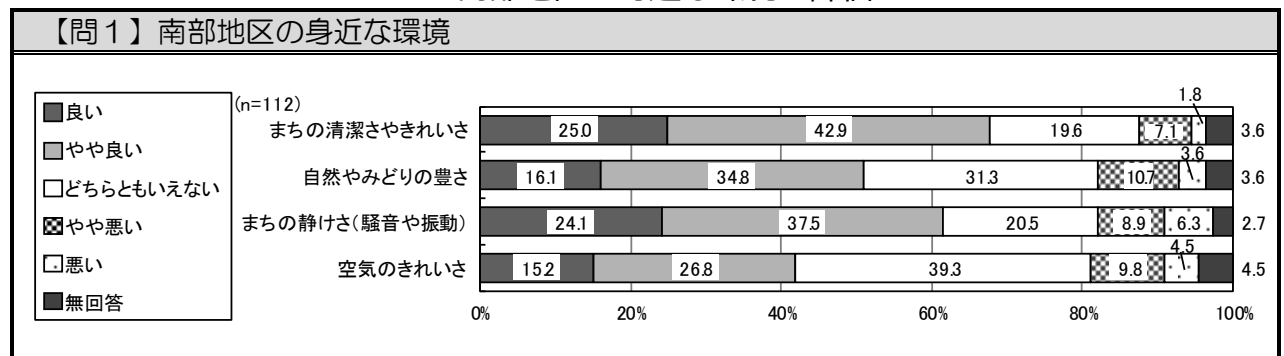
<中央地区の身近な環境の評価>



《 南部地区 》

- 問1における身近な環境4項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」(67.9%)でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ(騒音や振動)」(15.2%)でした。
- 問1において評価の高かった「まちの清潔さやきれいさ」について、問4(3)を項目別に確認すると、「街なかの落書き」の「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計(60.8%)が高くなっています。
- 問1において評価の低かった「まちの静けさ(騒音や振動)」について、問4(2)を項目別に確認すると、「車やバイクの騒音や振動」の「気になる」・「やや気になる」の割合の合計(48.2%)が高くなっています。

<南部地区の身近な環境の評価>

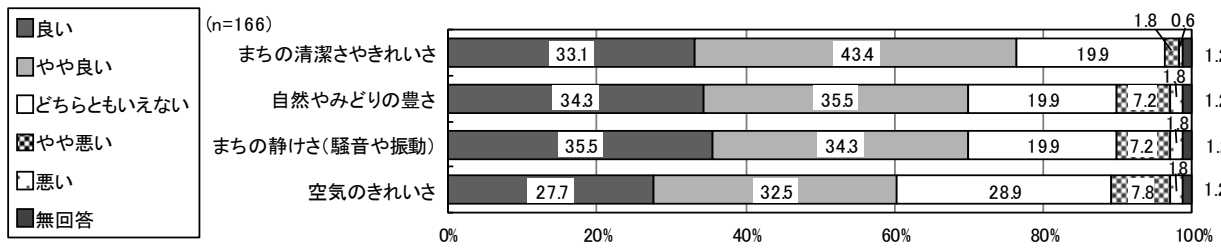


《 西部地区 》

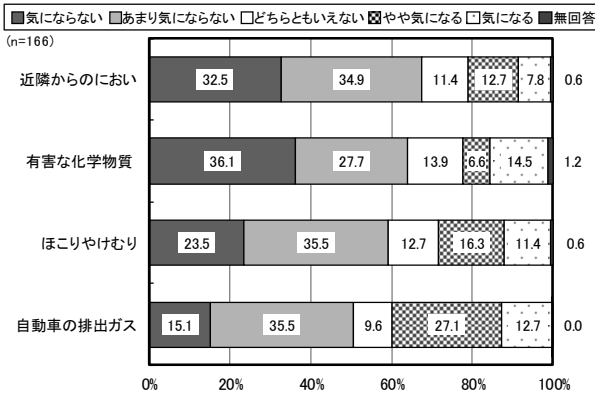
- 問1における身近な環境4項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」(76.5%)でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「空気のきれいさ」(9.6%)でした。
- 問1において評価の高かった「まちの清潔さやきれいさ」について、問4(3)を項目別に確認すると、「街なかの落書き」の項目の「気にならない」「あまり気にならない」に回答した割合の合計(60.8%)が高くなっています。
- 問1において評価の低かった「空気のきれいさ」について、問4(1)を項目別に確認すると、「自動車の排出ガス」の項目の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計(39.8%)が高くなっています。

<西部地区の身近な環境の評価>

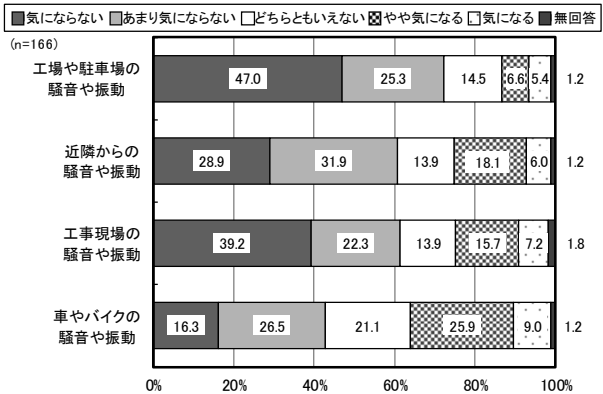
【問1】西部地区の身近な環境



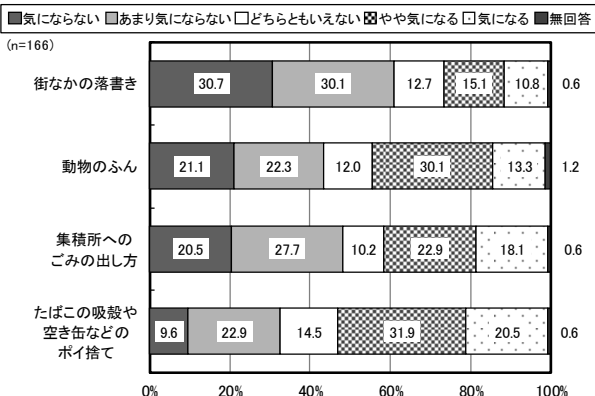
【問4(1)] 空気のきれいさ



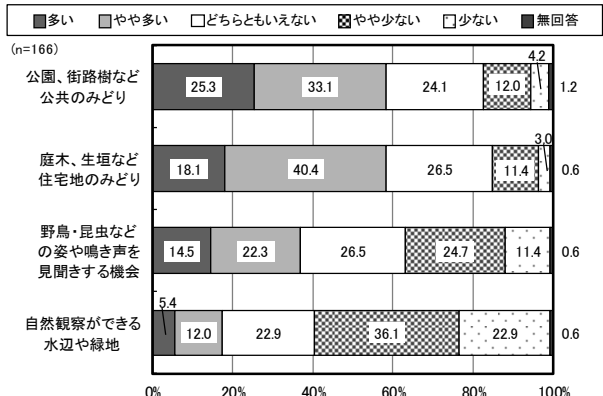
【問4(2)] まちの静けさ(騒音や振動)



【問4(3)] まちの清潔さやきれいさ



【問4(4)] 自然やみどりの豊かさ



▶ 年齢別等から見た環境にやさしい行動

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

(年齢別集計)

- 年齢別に取組の実施率を確認すると、「60歳代」が単純集計値を上回る項目が多くあり、「家庭でできる環境にやさしい行動I」に、積極的に取り組んでいることがうかがえます。
- 2018（平成30）年度と比較すると、「10～20歳代」と「60歳代」において、単純集計値を上回る項目が増加しています。

<「家庭でできる環境にやさしい行動I」の取組状況>

家庭でできる環境にやさしい行動I	18～29歳 (n=45)	30～39歳 (n=107)	40～49歳 (n=111)	50～59歳 (n=116)	60～69歳 (n=96)	70歳以上 (n=144)	単純 集計値 (n=620)
びん・缶・ペットボトル・古紙などを資源回収に出す	91.1	97.2	96.4	99.1	100.0	97.9	97.7
ごみの分別を徹底する	93.3	95.3	99.1	98.3	100.0	97.2	97.6
ものを大切にし、できるだけ長く使用する	97.8	100.0	97.3	94.8	97.9	97.2	97.4
使用していない場所の照明はこまめに消す	95.6	98.1	92.8	95.7	96.9	95.1	95.6
再生品や詰め替え商品を購入する	84.4	92.5	97.3	94.8	96.9	77.1	90.3
車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	91.1	85.0	93.7	86.2	93.8	86.8	89.2
身近に生息している生きものや植物を大切にす	77.8	89.7	86.5	81.0	86.5	84.7	85.0
マイバッグを利用する	55.6	71.0	75.7	79.3	82.3	74.3	74.7
冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする	75.6	68.2	67.6	68.1	74.0	75.0	71.1
庭やベランダなどに植木や鉢植えを設ける	48.9	51.4	56.8	56.9	75.0	84.7	64.5
洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	28.9	51.4	48.6	54.3	69.8	72.2	57.6
使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	57.8	58.9	53.2	44.8	65.6	63.2	57.1
エコドライブを実践する	37.8	53.3	66.7	57.8	52.1	38.9	51.8
洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	40.0	31.8	34.2	41.4	42.7	45.8	39.5
「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	20.0	40.2	35.1	31.9	43.8	32.6	35.0
家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む	31.1	28.0	30.6	25.9	36.5	29.9	30.0
環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会などに参加し、環境について学ぶ	4.4	9.3	16.2	7.8	16.7	18.8	13.2
地域の環境活動に参加する	4.4	8.4	11.7	6.9	22.0	27.1	13.2
雨水を貯めて再利用する	2.2	6.5	3.6	1.7	5.2	14.6	6.5

※ 表中の数値は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合（％）を示します。

また、網掛けは「単純集計値（年齢の無回答1人を含む。）」よりも、高い回答割合の区分を示しています。

(世帯の構成別集計)

- 「一人暮らし」は、すべての項目について、単純集計値よりも取り組んでいる人の割合が低くなっています。
- 「二世世代家族」は、すべての項目について、取り組んでいる人の割合が単純集計値よりも高く、「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」に関して、意識が高いことがうかがえます。

<「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況>

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	一人暮らし (n=105)	夫婦のみ (n=172)	二世世代家族 (n=283)	三世世代家族 (n=28)	その他 (n=30)	単純 集計値 (n=620)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	85.7	91.9	94.3	92.9	90.0	92.1
省エネタイプの家電製品を使用する	70.5	90.1	94.0	85.7	73.3	87.7
環境にやさしい自動車(低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車)を購入する	12.4	32.0	39.6	50.0	26.7	32.6
屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテンなど)をする	14.3	27.3	26.5	28.6	13.3	24.0
排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器(ガス、電気)を取り付ける	17.1	12.2	21.2	21.4	10.0	17.6
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	9.5	7.6	10.6	25.0	13.3	10.3

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示します。
また、網掛けは「単純集計値(世帯の構成の無回答2人を含む。)」よりも高い回答割合の区分を示しています。

(住宅の種類別集計)

- 「一戸建て」は、すべての項目について「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合が単純集計値より高くなっています。
- マンション・アパートでは、すべての項目について、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合が単純集計値より低くなっており、ハード面の対策の取組が難しい状況がうかがえます。

<「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況>

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	一戸建て (n=253)	マンション・アパート (n=276)	その他 (n=19)	単純 集計値 (n=620)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	96.0	87.7	89.5	92.1
省エネタイプの家電製品を使用する	91.7	85.1	78.9	87.7
環境にやさしい自動車(低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車)を購入する	42.7	27.5	36.8	32.6
屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテンなど)をする	31.2	20.3	15.8	24.0
排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器(ガス、電気)を取り付ける	24.5	12.3	0.0	17.6
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	13.4	9.1	0.0	10.3

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示します。
また、網掛けは「単純集計値(住宅の種類別の無回答72人を含む。)」よりも高い回答割合の区分を示しています。

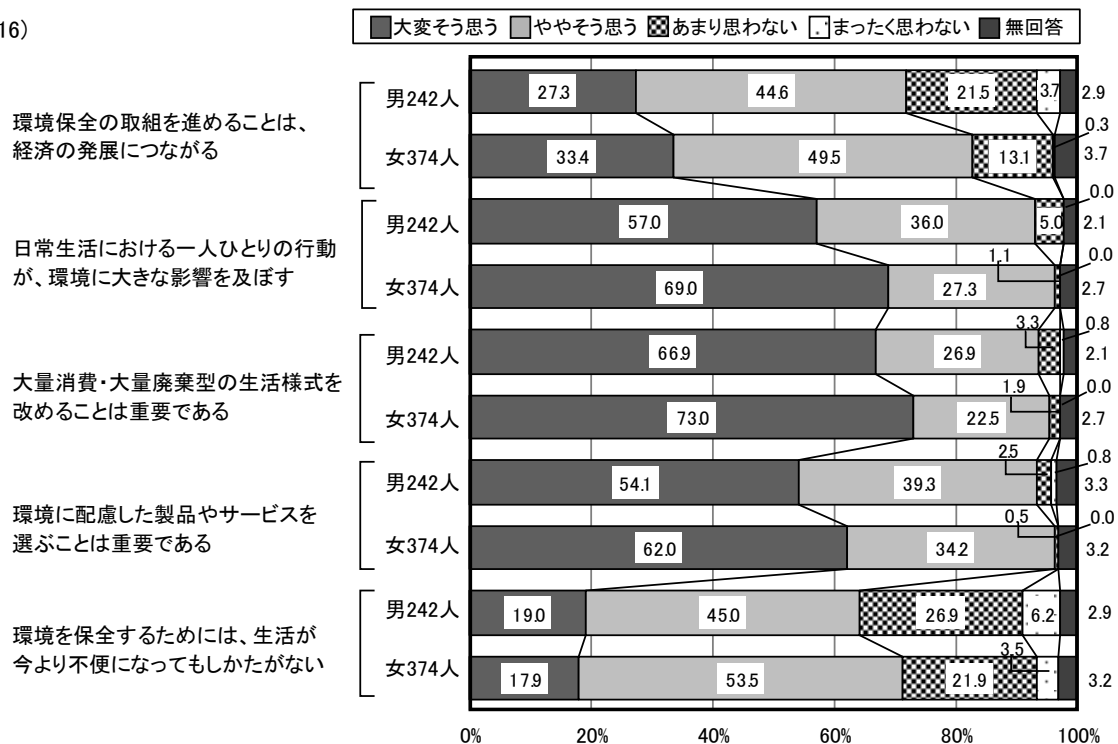
性別・年齢から見た環境と経済に関する意見

問12 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

(性別集計)

- すべての項目について、女性のほうが「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が高くなっています。
- 「環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない」という項目は、男女ともに「大変そう思う」の割合が低くなっています。

(n=616)

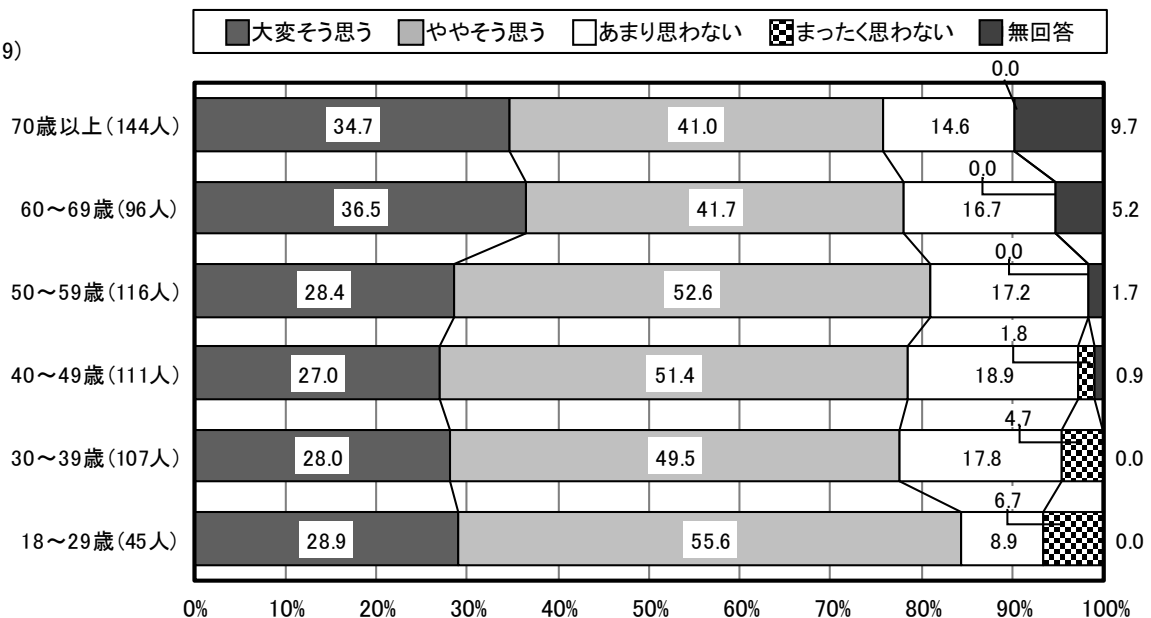


(年齢別集計)

<環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる>

- 「大変そう思う」の割合は、「60歳代」で最も高くなっています。
- 「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、「10～20歳代」で高くなっています。

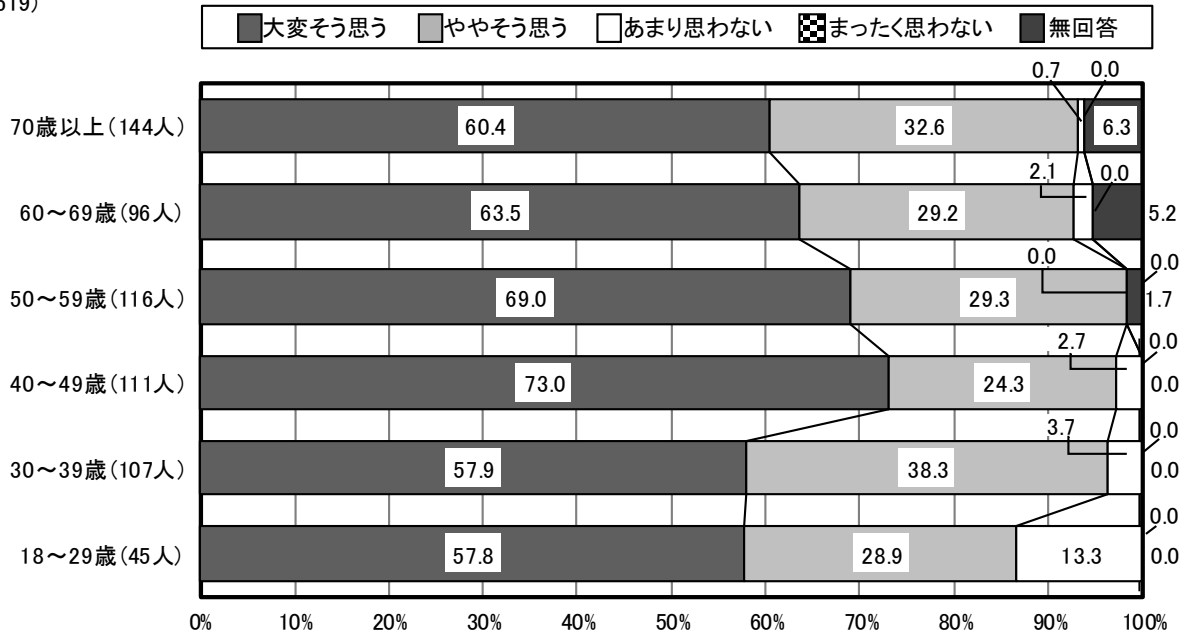
(n=619)



<日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす>

- 「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、「30歳代～50歳代」で高くなっています。
- すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が85%を超えています。

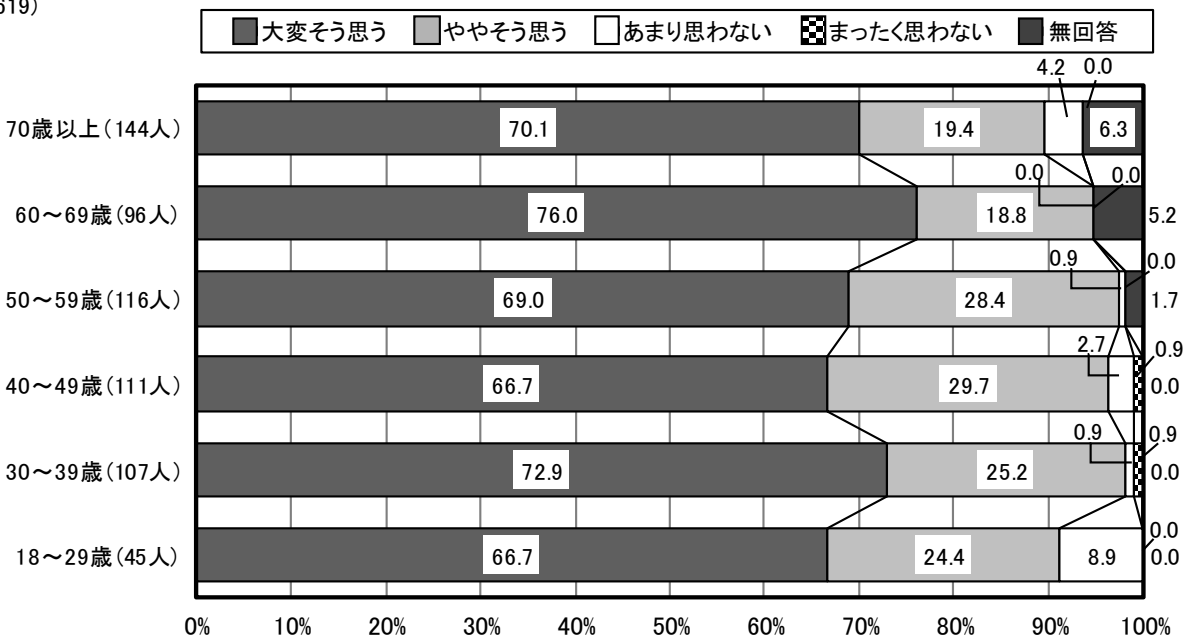
(n=619)



<大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である>

- 「大変そう思う」の割合は、「60歳代」で高くなっています。
- すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が85%を超えています。

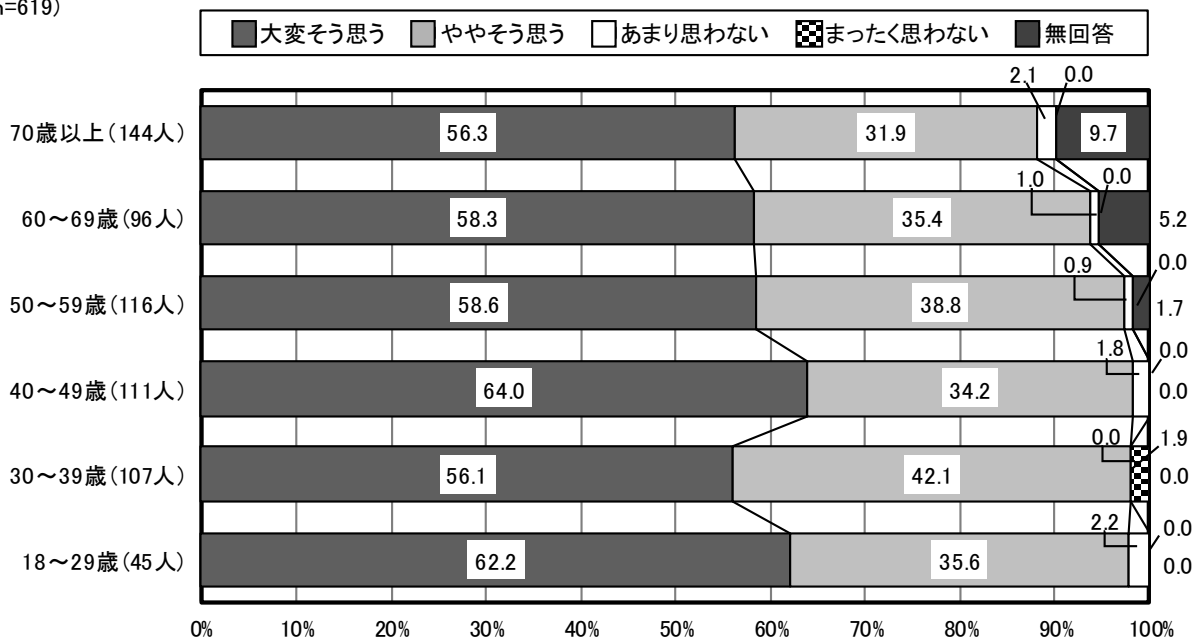
(n=619)



<環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である>

○ すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が85%を超えています。

(n=619)

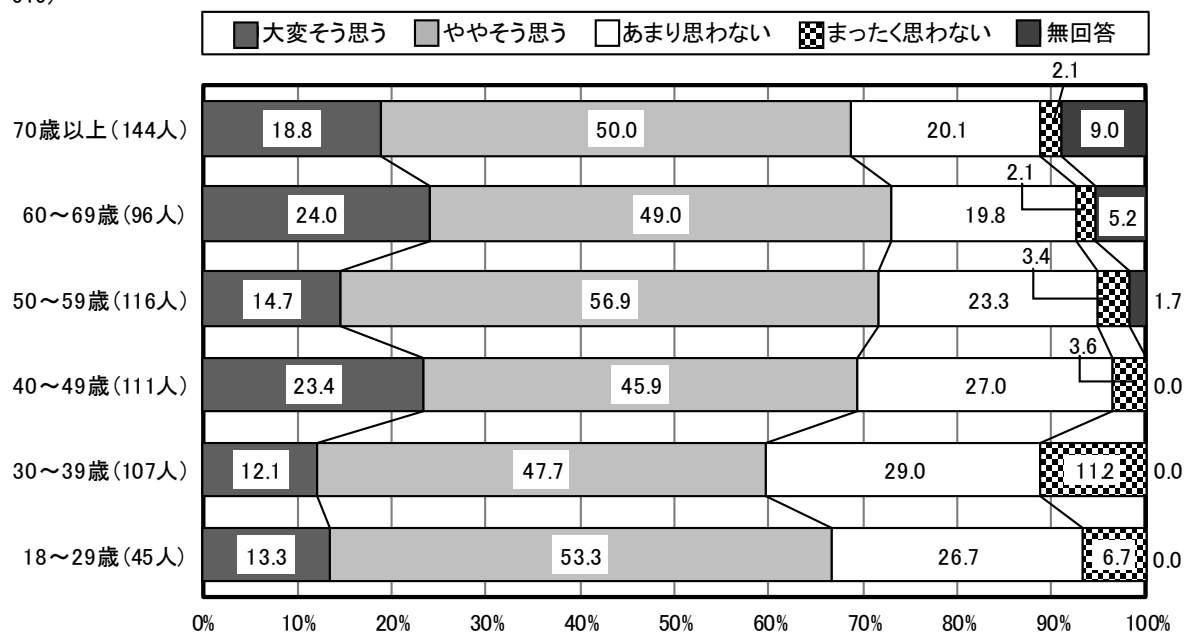


資料編

<環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない>

○ 「大変そう思う」の割合は、「40歳代、60歳代」で高くなっています。
 ○ 「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、すべての世代で55%以上になっています。

(n=619)



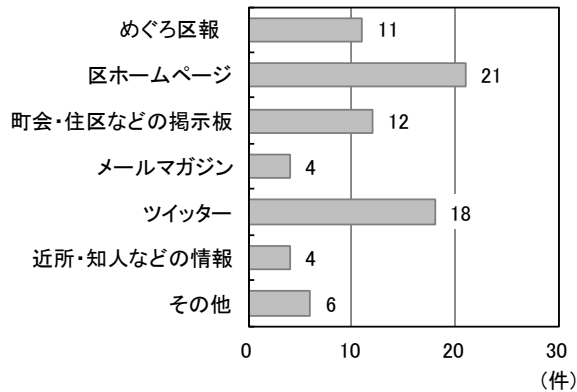
年齢別から見た環境情報の接触媒体

問16 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

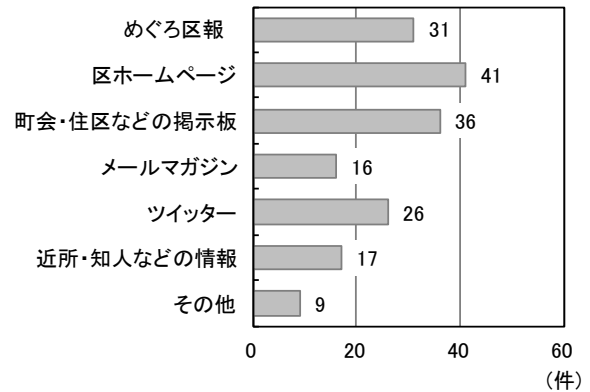
(年齢別集計)

○ 10～30歳代は、「区ホームページ」の利用意向が最も高くなっています。一方、40歳代以上では、「めぐろ区報」の利用意向が最も高くなっています。

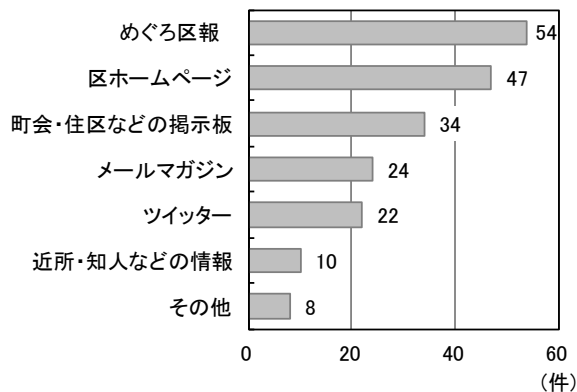
<18～29歳 (45人)>



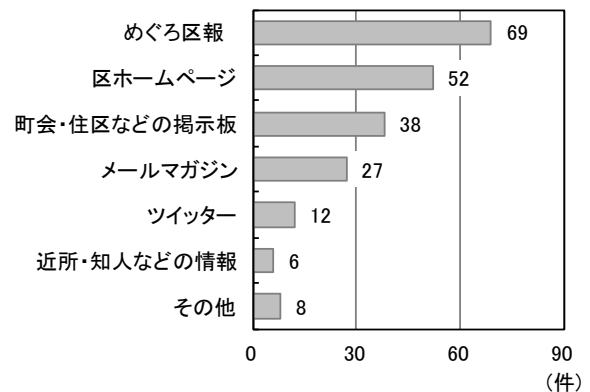
<30～39歳 (107人)>



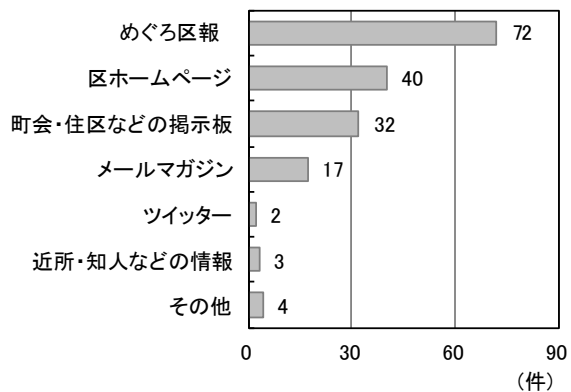
<40～49歳 (111人)>



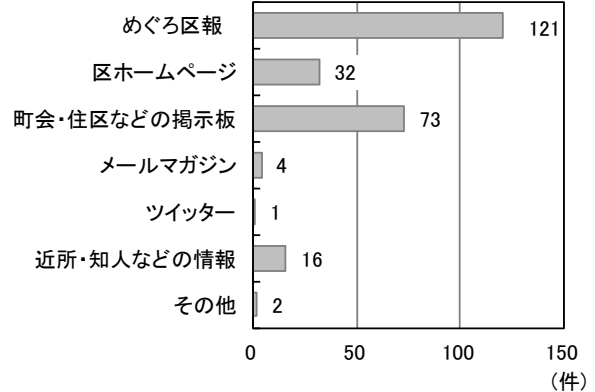
<50～59歳 (116人)>



<60～69歳 (96人)>



<70歳以上 (144人)>



▶ 身近な環境や目黒区の環境行政に関する自由記述（意見・提案など）

<回答者数：246人、延べ回答件数：348件>

目黒区環境基本計画の 基本方針	件数	意見の分類	件数
1 地球温暖化対策を推進する	12	低炭素のライフスタイルへの転換	3
		エネルギーを賢く使う暮らしの創造	6
		気候変動への適応策の推進	3
2 ものを大切に して 循環型社会を実現する	64	ごみをつくり出さない意識の醸成	3
		ごみの減量と資源化の推進	28
		ごみの適正処理の推進	33
3 みどりははぐくみエコロジカル ネットワークを形成する	49	拠点となるみどりの保全と創出	10
		身近なみどりの保全と創出	28
		都市の生物多様性の確保	11
4 健康で快適に暮らせる 生活環境を確保する	94	大気・水・土壌環境の保全	36
		身近な環境問題への対応	2
		住み心地のよい生活環境の確保	56
5 環境を守りはぐくむ人を育てる	36	環境教育・学習の機会の充実	30
		環境保全活動の推進	6
		ネットワークの形成	0
その他	93	環境に関するその他の事項について	14
		環境以外の区の施策について	49
		その他	30

環境に関するアンケート調査票

1. 現在お住まいの身近な環境についてお聞きします。

問1. 身近な環境について、どのように感じていますか。(それぞれ〇を1つ)

項目	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い
記入例)	①	2	3	4	5
空気のきれいさ	1	2	3	4	5
まちの静けさ(騒音や振動)	1	2	3	4	5
まちの清潔さやきれいさ	1	2	3	4	5
自然やみどりの豊かさ	1	2	3	4	5

問2. (ア) お住まいの近くに川や池がありますか。(〇を1つ)

- | |
|---------------|
| 1. はい ⇒ (イ) へ |
| 2. いいえ ⇒ 問3 へ |

(イ) お住まいの近くに川や池がある方(問2(ア)で1を選んだ方)のみにお聞きします。(それぞれ〇を1つ)

項目	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い
水のきれいさ	1	2	3	4	5
水のおい	1	2	3	4	5
水辺(周辺を含む)のきれいさ	1	2	3	4	5

問3. 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。(〇を1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 空気のきれいさ | 2. まちの静けさ(騒音や振動) |
| 3. まちの清潔さやきれいさ | 4. 自然やみどりの豊かさ |
| 5. その他() | |

問4. 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。(それぞれ0を1つ)

(1) 空気のきれいさについて

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
自動車の排出ガス	1	2	3	4	5
ほこりやけむり	1	2	3	4	5
近隣からのにおい	1	2	3	4	5
有害な化学物質 (アスベスト、ダイオキシン類など)	1	2	3	4	5

(2) まちの静けさ(騒音や振動)について

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
近隣からの騒音や振動	1	2	3	4	5
車やバイクの騒音や振動	1	2	3	4	5
工場や駐車場の騒音や振動	1	2	3	4	5
工事現場の騒音や振動	1	2	3	4	5

(3) まちの清潔さやきれいさについて

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
動物のふん	1	2	3	4	5
たばこの吸殻や空き缶などの ポイ捨て	1	2	3	4	5
集積所へのごみの出し方	1	2	3	4	5
街なかの落書き	1	2	3	4	5

(4) 自然やみどりの豊かさについて

項目	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない
公園、街路樹など公共のみどり	1	2	3	4	5
庭木、生垣など住宅地のみどり	1	2	3	4	5
野鳥・昆虫などの姿や鳴き声 を見聞きする機会	1	2	3	4	5
自然観察ができる水辺や緑地	1	2	3	4	5

問5. 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。(〇を1つ)

1. 良い	2. やや良い	3. どちらともいえない	4. やや悪い	5. 悪い
-------	---------	--------------	---------	-------

問6. 問5で回答した理由をご記入ください。(問5で「3.どちらともいえない」を選んだ方は、回答不要です)

問5で、1または2を選択した方は「良い」と思う理由や場所を、4または5を選択した方は「悪い」と思う理由や場所をお書きください。

2. 環境にやさしい行動の取組状況についてお聞きします。

問7. あなたは次のアからノの「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。(それぞれ〇を1つ)

家庭でできる環境にやさしい行動 I	いつも している	時々 している	していない 〔今後も しない〕	していない 〔本当は したい〕
記入例)	①	2	3	4
ア. マイバッグを利用する	1	2	3	4
イ. 再生品や詰め替え商品を購入する	1	2	3	4
ウ. ものを大切にし、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
エ. ごみの分別を徹底する	1	2	3	4
オ. びん・缶・ペットボトル・古紙などを資源回収に出す	1	2	3	4
カ. 洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	1	2	3	4
キ. 洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	1	2	3	4
ク. 雨水を貯めて再利用する	1	2	3	4
ケ. 使用していない場所の照明はこまめに消す	1	2	3	4
コ. 使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	1	2	3	4
サ. 冷暖房の設定を夏は室温 28℃、冬は室温 20℃をめやすにする	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	いつもしている	時々している	していない〔今後もしない〕	していない〔本当はしたい〕
シ. エコドライブを実践する	1	2	3	4
ス. 車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	1	2	3	4
セ. 庭やベランダなどに植木や鉢植えを設ける	1	2	3	4
ソ. 身近に生息している生きものや植物を大切にする	1	2	3	4
タ. 環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会などに参加し、環境について学ぶ	1	2	3	4
チ. 「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	1	2	3	4
ツ. 家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む	1	2	3	4
テ. 地域の環境活動（町会・サークルなどが行う道路や公園などの清掃・緑化活動、ごみ減量やリサイクル活動など）に参加する	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	すでに購入・設置している	購入・設置を検討中	購入・設置をしない	購入・設置できない
ト. LED電球や電球型蛍光灯を使用する	1	2	3	4
ナ. 省エネタイプの家電製品を使用する	1	2	3	4
ニ. 環境にやさしい自動車（低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車）を購入する	1	2	3	4
ヌ. 屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテンなど）をする	1	2	3	4
ネ. 太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	1	2	3	4
ノ. 排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器（ガス、電気）を取り付ける	1	2	3	4

問8. あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。（いくつでも○）

1. 時間や手間がかかる	2. 情報不足・やり方がわからない
3. 費用がかかる	4. 効果がよくわからない
5. 必要性を感じない	6. その他（ ）

問9. あなたは、昨年1年間に省エネルギーを意識して電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減に取り組みましたか。（それぞれ○を1つ）

	常に意識して 取り組んだ	ときどき 取り組んだ	意識はあったが 取り組まなかった	意識はなく 取り組まなかった
電 気	1	2	3	4
ガ ス	1	2	3	4
水 道	1	2	3	4
ガソリン（自動車） ※自動車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

問10. あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。（それぞれ○を1つ）

	減っている	変わらない	増えている	わからない
電 気	1	2	3	4
ガ ス	1	2	3	4
水 道	1	2	3	4
ガソリン（自動車） ※自動車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

問11（ア）あなたの世帯では、昨年1年間で省エネルギーを意識して家電や自動車の買い替え、再生可能エネルギー機器の導入をしましたか。（○を1つ）

1. はい ⇒ (イ) へ
2. いいえ ⇒ 問12 へ

(イ) 「はい」と答えた方（問11（ア）で1を選んだ方）のみにお聞きします。具体的に買い替え、導入したものは何ですか。（いくつでも○）

1. 照明器具（LED電球など）	2. 冷蔵庫	3. エアコン
4. テレビ	5. 給湯器	6. 温水洗浄便座
7. 自動車	8. 太陽光発電システム	
9. 太陽熱利用システム	10. その他（	）

問12. 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。
(それぞれ〇を1つ)

項目	大変 そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない
環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4
大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	1	2	3	4

3. 目黒区で行っている環境保全活動についてお聞きします。

問13 (ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。(いくつでも〇)

1. めぐるグリーンアクションプログラム	2. 太陽光発電システムなどの設置費助成の利用	} 1~8を 選んだ方 ⇒問14へ
3. 環境推進員(環境ナビゲーター)養成講座	4. 環境学習会・環境講演会	
5. いきもの発見隊	6. グリーンクラブ活動	
7. 目黒川クリーンアップ大作戦	8. その他()	
9. どれにも参加したことがない ⇒ (イ) へ		

(イ) どれにも参加したことがない方(問13(ア)で9を選んだ方)のみにお聞きします。
参加できない理由は何ですか。(いくつでも〇)

1. 興味・関心が持てる活動や団体がないから	2. 参加する時間がないから
3. 交通費や年会費などの費用がかかるから	4. 1人では参加しにくいから
5. どのくらい環境保全に役立つかわからないから	6. 活動があることを知らないから
7. その他()	

問14. 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。
(いくつでも〇)

1. 家庭における二酸化炭素削減プログラム	2. 新エネルギー・省エネルギー機器の設置
3. 環境に関する学習会や講演会	4. 野鳥や草花などの自然観察会や調査
5. 緑地や学校などでの生きものの生息環境づくり	6. 住まい周辺の緑化活動
7. ごみの減量やリサイクル活動	8. 道路や公園などの清掃・ごみ拾い
9. その他()	

問15. 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。

(いくつでも○)

1. 大気・水質・騒音、放射線測定などの観測情報	2. 環境学習会や講演会に関する情報
3. 動植物のみられる時季や場所に関する情報	4. ごみの分別や不用品に関する情報
5. まちの美化や清掃活動に関する情報	6. 省エネルギーに関するアイデア情報
7. 環境に関する活動・取組を支援する補助金情報	
8. その他()	

問16. 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。

(いくつでも○)

1. 区ホームページ	2. メールマガジン	3. ツイッター
4. めぐる区報	5. 町会・住区などの掲示板	6. 近所・知人などの情報
7. その他()		

問17. 「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きします。

(ア) 区では、生活に密着した身近な情報を発信しながら、環境に負荷の少ない心地良い暮らしを提案する「めぐろスマートライフ」ホームページを平成27年4月に開設しました。このホームページを知っていますか。(○を1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(イ) 「めぐろスマートライフ」では、現在次のような情報を発信しています。エコなライフスタイルを送るために、今後どの情報の充実を望みますか。(いくつでも○)

1. 食に関するアイデア情報	2. 暮らし全般に関するアイデア情報
3. 省エネに関する情報	4. その他()

問18. リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	よく内容を 知っている	多少の内容は 知っている	名前くらいしか 知らない	名前も知らない
めぐろ買い物ルール	1	2	3	4
小型家電回収	1	2	3	4

～ ルールや制度について ～

めぐろ買い物ルール

ごみをつくり出さない工夫や啓発を積極的に行うことを実現するため、平成18年3月に策定しました。

小型家電回収

取りあまる資源を有効に活用するため、携帯電話など小型家電(9品目)の回収を平成26年4月から開始しました。

環境行政をめぐる動き

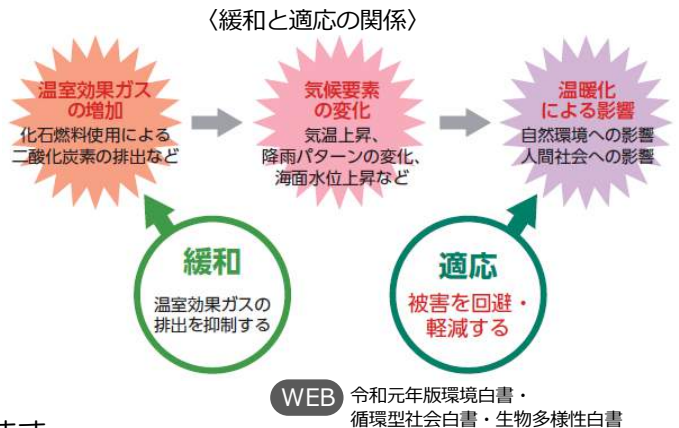
環境をとりまく状況は、めまぐるしく変化しています。世界や国、都の動向にあわせ、区では次頁の表に示すような取組を進めてきました。特に近年では、次のような環境問題の重要性が高まっています。

▶ 気候変動への適応 ～「気候変動適応法」と「気候変動適応計画」～

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質の低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加など、気候変動の影響が全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあります。

これらの気候変動の影響に対処するため、これまで取り組んできた温室効果ガスの排出削減対策（緩和策）だけではなく、現在生じており、また将来予測される被害の防止・軽減等を図る適応策の推進が求められています。

2018（平成30）年6月、「気候変動適応法」が公布され、適応策を推進するための法的仕組みが整備されました。これを受け、同年11月、国は「気候変動適応計画」を閣議決定しました。本計画では、気候変動の影響による被害を防止・軽減するため、各主体の役割や、あらゆる施策に適応を組み込むことなど、7つの基本戦略を示すとともに、分野ごとの適応に関する取組を網羅的に示しています。



＜気候変動適応計画 ～気候変動適応に関する施策の基本的方向～＞

【使命・目標】 各分野において、信頼できるきめ細やかな情報に基づく効果的な気候変動適応の推進

【基本的役割】 関係者の具体的役割を明確化

政府	地方公共団体	事業者	国民	国立環境研究所
<ul style="list-style-type: none"> 適応の率先実施 多様な関係者の適応促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の適応の推進 地域の関係者の適応促進 	<ul style="list-style-type: none"> 事業に応じた適応の推進 適応ビジネスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 適応行動の実施 適応施策への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 適応の情報基盤の整備 地方公共団体等の技術的援助

【基本戦略】 7つの基本戦略の下、関係府省庁が緊密に連携して気候変動適応を推進

- あらゆる関連施策に気候変動適応を組み込む** 農業・防災等の各施策に**適応を組み込み**効果的に施策を推進
- 科学的知見に基づく気候変動適応を推進する** 観測・監視・予測・評価、**調査研究、技術開発**の推進
- 研究機関の英知を集約し、情報基盤を整備する** 国立環境研究所・国の研究機関・**地域適応センター**の連携
- 地域の実情に応じた気候変動適応を推進する** **地域計画**の策定支援、**広域協議会**の活用
- 国民の理解を深め、事業活動に応じた気候変動適応を促進する** **国民参加の影響モニタリング、適応ビジネス**の国際展開
- 開発途上国の適応能力の向上に貢献する** **アジア太平洋地域での情報基盤作り**による途上国支援
- 関係行政機関の緊密な連携協力体制を確保する** **気候変動適応推進会議（議長：環境大臣）**の下での省庁連携

＜環境行政をめぐる区の動き及び世界・日本・東京都の動き＞

年度	区の動き	★：世界の動き ●：国の動き ○：東京都の動き
2009 (平成21)年度	「目黒区景観計画」策定 「目黒区地球温暖化対策推進実行計画 (めぐろエコ・プラン)」策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
2010 (平成22)年度	「目黒区総合治水対策基本計画」改定 「目黒区環境学習推進計画」改定	★COP-CBD ^{※1} 10開催 (「名古屋-クアラルンプール補足議定書」、 「愛知ターゲット」、「名古屋議定書」採択) ○「首都圏キャップ&トレード制度」協定締結 ○「緑確保の総合的な方針」策定
2011 (平成23)年度	「目黒区環境基本計画」改定 (重点プロジェクトの変更など) 「目黒区景観計画」改定	★COP-FCCC ^{※2} 17開催
2012 (平成24)年度	—	★COP-FCCC18開催 ★国連持続可能な開発会議(リオ+20)開催 ●「第四次環境基本計画」閣議決定 ●「生物多様性国家戦略2012-2020」閣議決定 ●「都市の低炭素化の促進に関する法律」制定 ○「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」策定
2013 (平成25)年度	「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行 計画(めぐろエコ・プランⅡ)」改定 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画 (第二次計画)」改定 「目黒区環境学習実行プラン」改定 「ささえあう生命の輪(いのちのわ) 野鳥のすめるまちづくり計画」策定	★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が 「5次評価報告書」の第1作業部会報告書、 第2作業部会報告書を公表 ★「水銀に関する水俣条約」採択 ●「地球温暖化対策推進法」改正 (3ぶった窒素《NF ₃ 》の温室効果ガスへの追加など) ●「第三次循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「Jクレジット」制度の発足
2014 (平成26)年度	—	★持続可能な開発のための教育(ESD)に関する ユネスコ世界会議開催 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が 「5次評価報告書」の第3作業部会報告書を公表 ★「名古屋議定書」発効 ●「水循環基本法」制定 ●「外来種被害防止行動計画」策定 ○「東京都長期ビジョン」策定
2015 (平成27)年度	「目黒区みどりの基本計画」改定 「目黒区一般廃棄物処理基本計画 ～快適で誇りのもてる循環型のまち～ 」改定	★COP-FCCC21開催「パリ協定」採択 ★国連持続可能な開発サミット開催(「持続可能な開発の ための2030アジェンダ」採択) ●「建築物省エネ法」制定 ●「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」制定 ●「気候変動の影響への適応計画」閣議決定 ○「東京都環境基本計画」改定 ○「緑確保の総合的な方針」改定
2016 (平成28)年度	「目黒区環境基本計画」改定 (重点的に取り組むテーマの設定など)	★COP-FCCC22開催「パリ協定」発効 ●「地球温暖化対策計画」閣議決定
2017 (平成29)年度	—	★「水銀に関する水俣条約」発効
2018 (平成30)年度	「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行 計画(めぐろエコ・プランⅢ)」改定	●「第五次環境基本計画」閣議決定 ●「気候変動適応法」制定 ●「気候変動適応計画」閣議決定 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル) が「1.5℃特別報告書 ^{※3} 」を公表

※1 COP-CBD…生物多様性条約締約国会議。

※2 COP-FCCC…気候変動枠組条約締約国会議。

※3 「1.5℃特別報告書」…気候変動の脅威への世界的な対応の強化、持続可能な発展及び貧困撲滅の文脈において工業化以前の水準から1.5℃の気温上昇にかかる影響や関連する地球全体での温室効果ガス(GHG)排出経路に関する特別報告書。

環境保全の施策に要した主な経費

基本方針1 地球温暖化対策を推進する

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
地球温暖化対策事業	【普及・啓発事業】 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成、地域協議会運営、めぐろグリーンアクションプログラム など	10,885

基本方針2 ものを大切に循環型社会を実現する

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
ごみ減量化のための普及啓発	MGR100プロジェクト、めぐろ買い物ルール、環境学習 など	4,404
拠点回収事業	回収量(乾電池 17t、紙パック 5t、小型家電 6.5t)	5,630
分別回収の推進事業	回収量 (びん 2,915t、缶 785t、ペットボトル 1,080t、資源プラスチック 1,544t、蛍光灯など 11t)	1,038,065
古紙回収(行政回収分)	古紙回収量 274t	47,524
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援 318団体、 資源回収量(古紙など) 11,594t	46,317

基本方針3 みどりははぐくみエコロジカルネットワークを形成する

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
公園・緑道等の整備	公園(改良) 1か所、児童遊園(改良) 1か所	92,028
みどりのまちなみ助成	接道部緑化 20件、保存樹木等助成 271件	3,688
グリーンクラブ事業	花苗配布などの支援 94団体	5,371

基本方針4 健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査、一般大気中アスベスト調査、一般環境大気中のダイオキシン類調査委託、目黒川臭気分析委託	15,460
総合治水対策の推進	雨水浸透枮 4か所、透水性舗装 108㎡	2,796
放射線対策	空間放射線量測定、 NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーター校正費	173
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	96
犬のふん放置等に対する普及啓発	飼い主へのマナー啓発プレート配布、犬の飼い方セミナー、啓発のぼり作成	186
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域のパトロール、路上シート作成設置、指定喫煙所維持管理 など	17,955

基本方針5 環境を守りはぐくむ人を育てる

(単位：千円)

事業名	事業の内容	経費
目黒区エコプラザ運営管理	環境推進員養成講座、リサイクルショップ、図書貸出し など	26,930

より詳しい情報を知りたい方のために…

・環境調査報告書

基本方針4で報告した大気・水質などに関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。2019（令和元）年度版は、10月頃の発行を予定しています。

WEB [トップページ](#) > [行政情報](#) > [統計・調査・報告](#) > [調査・報告](#) > [環境調査報告書](#)

・環境保全施策実施状況一覧表

区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

WEB [トップページ](#) > [行政情報](#) > [統計・調査・報告](#) > [調査・報告](#) > [目黒区環境報告書（めぐろの環境）](#)

ご意見・ご感想をお聞かせください

2019（令和元）年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。

今後の環境報告書づくりの参考にしていきますので、ご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔宛て先〕 目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係

電話：03-5722-9356 FAX：03-5722-9401

E mail：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

2019めぐろの環境

（令和元年度版 環境報告書）

主要印刷物番号

31-5号

発行日 2019（令和元）年9月発行

発行者 目黒区

編集部署 目黒区環境清掃部環境保全課

東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-5722-9356（直通）

編集協力 エヌエス環境株式会社